

三春町教育委員会  
事務点検・評価報告書  
(平成30年度対象)

令和元年11月

三春町教育委員会

## 目 次

I	点検及び評価書	1～5
II	事務報告書	
	・教育課 学校教育グループ	1～11
	・生涯学習課 生涯学習グループ	12～26
	・生涯学習課 社会体育グループ	27～30
	・生涯学習課 歴史民俗資料館	31～35
	・生涯学習課 町民図書館	36～46
	・生涯学習課 児童生活センター	47～53

# I 点検及び評価書

三春町教育委員会は、平成30年度の事業を推進するにあたり六つの実践目標を掲げ、各課及び各グループにおいてはそれを基本として重点目標を設定し事業を遂行した。

このことは、目標を達成するために大いに評価します。

また、東日本大震災から8年の時が流れたが、東京電力福島第一原発事故による放射性物質への対策、相双地区からの児童生徒の受け入れなどの関係事務を昨年同様行ったことに対して評価します。

また、岩江小学校外壁改修工事、三春交流館舞台機構改修工事、旧三春中学校体育館改修工事等、諸施設の計画的な改修・修繕の実施、小学校のコンピュータ更新、天然記念物再生事業、図書館インターネット予約の開始、岩江児童クラブの利用時間拡大などの画期的な取り組みを高く評価します。

以下は、個別の事項に対する評価及び意見です。

## 教育課

### 学校教育グループ

#### 1 放射性物質の測定・検査及び放射能の影響を踏まえた健康管理

##### (1) 給食食材の検査と児童生徒の測定

放射性物質が及ぼす影響の不安解消のため、今年度も内部被ばくに対しての給食食材のベクレル検査について、安全な給食を提供できたことに対して大いに評価します。

また、30年度も引き続きのホールボディーカウンターによる内部被ばく量測定検査の実施、OSL線量計による外部被ばく検査等の検査の取り組みを大いに評価します。

#### 2 確かな学力・生きる力の育成及び共に学び、共に生きる教育の推進

##### (1) 夢をかなえる確かな学力の育成

30年度は、学力検査テストの結果分析により、積極的な取り組みや学力向上推進委員会を開催して学力向上プランの実践と改善の協議を行ったことを大いに評価します。

キャリア教育については、地域の人に協力を得ながらの実施ということで、生徒にも地域の人たちにも良い影響を生んでいると大いに評価します。

##### (2) 特色ある学校づくりの推進

各学校それぞれの地域性を活かし、交付金制度を使いながら事業推進をしたことで、特色のある有効活用ができたとして大いに評価します。

##### (3) 一人ひとりの教育的ニーズの把握と特別支援教育の充実

教員の指導力向上とともに児童生徒の特性に対応した支援の充実を図るため、特別支援教育の介助員の配置、研修会の実施、また支援の必要な児童生徒への就学指導審議会の運営、取り組みを大いに評価します。

##### (4) 食育の実践

学校給食を食事摂取の目安量として、健康な食生活の実践につなげ、体重の

適正化を図るために、文部科学省委託「つながる食育事業」を実施したことで、生徒、保護者、教職員ともに食の大事さを意識し、日常生活に役立ったと思います。また、教育相談時に食に関する相談項目を設定し、食と健康への意識向上を図ったことで、生徒の変容を把握することが可能になり、教職員同士がつながることになった取り組みを大いに評価します。

### 3 学校等の教育環境整備

#### (1) 計画的な工事の実施

年次計画に基づき、計画通り事業が完了したことを評価します。子ども達の教育環境を裏面から支えるために役立つことを願います。

## 生涯学習課

町民一人ひとりが、いつでも、どこでも、だれでも自発的、創造的に学習活動ができ、その成果を適切に活かすことのできる社会を実現する理念の元、様々な学習の機会を提供していることを大いに評価します。

## 生涯学習グループ

### 1 町民のニーズに対応した生涯学習機会の提供及び芸術文化活動の推進

町民の生きがい作りの事業として、高齢者教育及び自主活動を積極的に行う団体への支援事業は、保健センターで実施している一生健康でいるため運動の機会を設けると同様に、心の健康作りのための事業として大いに評価します。

地域学校協働本部支援事業を行うことで、学校と地域が協力して生徒を見守り育てることの連携がスムーズになったことを評価します。

町広報誌やホームページなどを利用した学習機会の場を提供したことで、多くの町民が学習の機会を得ることができた提供の方法を大いに評価します。

また、町民が学習活動を進めるために、文化祭の開催や生涯学習団体への学習機会を効果的に行ったことは、町民の学習活動に役立ったと思います。

三春交流館「まほら」開館15周年記念事業として、三春交流館と三春交流館運営協会による自主事業6公演は、積極的な事業だったと思います。交流館「まほら」と交流館運営協会による自主事業は、広い分野からの選考を期待します。人口の減少が、入場者数の減少の原因のひとつかもしれませんが、ほかの原因を考え対処していく方向を望みます。

文化祭の作品の展示が少なく寂しい気がしました。町民を楽しませるために文化祭のあり方を今後考えなくてはならない時期にきていると思います。

### 2 国際交流事業の推進

#### (1) 青少年派遣事業

①アメリカ短期留学は、教育交流において、サマーキャンプ内容の見直しを行

ったため、沢山の希望者がいたということでした。今後の交流事業を期待します。

②ホームステイでライスレイク高校卒業生を受け入れたことで、中・高校生の異文化交流ができたことを評価します。

③ライスレイク高校交換留学生派遣者選定事業ができたことを評価します。

#### (2)「三春町国際交流館ライスレイクの家」の維持管理と運営

青少年の派遣事業が前向きに動いたことで、ライスレイクの家が国際交流の活動の場になることを希望します。

### 3 自然教室の充実

#### (1)「さくら湖自然観察ステーション」の維持管理と運営

前年度と比べると利用者が増加していることを大いに評価します。

#### (2) 各種観察会及び自然環境フォーラム等の開催

三春町の自然を知り環境問題を考える場を提供するために努力していること、地域のボランティアの協力を評価します。学校、企業、公社の連携も良かったと思います。さくら湖自然環境フォーラムの記念講演はすばらしく、今後に期待して大いに評価します。

### 4 三春交流館「まほら」及び地区交流館の適正な維持管理と運営

町民が利用するために必要な修繕、工事を行ったことを評価します。

地区館の運営に関してですが、共通で貸し出しが可能であれば、まほらやその他の申込希望者が重なり、貸し出しが不可能な地区館が出れば外の地区館を利用できるシステム作りを望みます。

## 社会体育グループ

### 1 スポーツ活動の企画及び機会の確保に関する取り組み

トレッキング教室、地域の交流のために図られた町民ソフトボール・家庭バレーボール大会、スキー教室、そして町体育協会、町スポーツ少年団への支援を評価します。特に、21回目のさくら湖マラソンの事業は、各地からの参加者で賑わったことを大いに評価します。今後もスポーツに親しむ機会を町民に提供することを期待します。

### 2 体育施設整備に関する取り組み

旧三春中学校体育館を社会体育施設に改修工事したことによって、平成30年11月に第2体育館として開設したことを評価します。

## 歴史民俗資料館

### 1 国指定天然記念物・三春滝ザクラを保護・保存する

今年度は文化庁の許可と補助を受け大がかりな足場を設け、天然記念物再生事業を実施したことを大いに評価します。

滝桜の保存会に草刈等の管理、積雪時の雪下ろしを業者に委託したことを評価

します。

- 2 文化財等を保護し、伝統文化の継承を支援する
  - ①真照寺の復興再建事業を支援し補助金を交付したこと、三春城址の案内のための解説板等を新設したことを評価します。今後も町の中にある史跡の古くなってしまった解説板のリニューアル事業を継続することを望みます。
  - ③人口減少のため、難しくなっている中で、民俗芸能継承保存のための支援に力を入れた事業を進めることを希望します。
- 3 歴史民俗資料館等の施設を適切に管理・運営する
  - ①歴史民俗資料館の入り口を自動ドアにしたこと、老朽化した水道を修繕したこと、敷地内の危険木を伐採したことを評価します。
  - ②郷土人形館、文化伝承館を生涯学習支援ボランティアの会に管理を委託したことは町が目指す、行政と町民との協働事業のひとつであることとして大いに評価します。
- 4 企画展等を開催するとともに、資料を整理・保存し、活用を図る
  - ①愛姫生誕450年の特別展や戊辰・明治150年の企画展を大いに評価します。
  - ②展示・学芸事業として新たな資料を収集し、貸し出し・閲覧に対応したことを評価します。
  - ③展示解説や講座を開催し、出前講座等の派遣依頼に対応したことは積極的な事業として大いに評価します。

## 町民図書館

- 1 みんなが本に親しみ、日常生活に役立つ図書館をめざす  
皆が本に親しみ、日常生活に役立つ図書館をめざしていること、広報みはる、図書館のホームページ、図書館窓口、チラシ配布等の前向きな事業の取り組みを大いに評価します。
- 2 利用者の要望を把握し、図書館業務に反映させていく  
社会情勢にあったインターネット予約を開始したことを評価します。
- 3 三春の歴史と文化を継承し、豊かな社会づくり、人づくりを支援する  
歴史と文化の継承のための取り組みを評価します。人作りのために行った朗読講習会、各種おはなし会は今後も続けていくことを希望します。
- 4 各地域へのサービス体系を整備する  
評価します。
- 5 学校との連携を図り、学習の支援を行っていく  
読み聞かせを実施し、図書館の配本などを積極的に実施していることに対して大いに評価します。
- 6 新三春町民図書館整備基本計画に基づき、新館運営に向けた準備を進める  
計画に基づいて古い資料の除籍・廃棄を進め、有用資料の更新・追加をしたことを評価します。

## 児童生活センター

### 1 放課後子ども総合プラン推進事業に関する取り組み

#### (1) 児童クラブ運営事業

放課後留守家庭となる児童のために、三春小学校区、岩江小学校区、御木沢小学校区の放課後児童クラブを開設したことを評価します。保護者会を中心にした親子行事を開催し、地域の人を招き伝えていることを大いに評価します。

#### (2) まほらっこ教室運営事業

全小学校区で放課後の児童の居場所として開催している教室を評価します。今後も児童クラブのない地域での児童支援事業がスムーズに運営されることを期待します。



## II 事務報告書

# 教育委員会 教育課

## 学校教育グループ

### 平成30年度重点施策の進捗状況

#### 1 放射性物質の測定・検査及び放射能の影響を踏まえた健康管理

給食食材の検査と児童生徒の測定

放射性物質が及ぼす影響の不安解消のため、前年度に引き続き給食食材の放射性物質検査を実施した。また、児童生徒に対しては、ホールボディカウンターによる内部被ばく量測定検査をひらた中央病院にて引き続き実施した。なお、平成23年度から行っているOSL線量計による外部被ばく量の測定も継続して実施した。

#### 2 確かな学力・生きる力の育成及び共に学び、共に生きる教育の推進

##### (1) 夢をかなえる確かな学力の育成

26年度より学力検査テストの更新を行い、30年度においてもその結果分析に基づいた授業の改善等を進めた。また、学力向上推進委員会を開催して検査結果分析をもとにした各学校の学力向上プランの実践と改善について協議を行った。キャリア教育への取り組みとして、中学2年生の教育課程に職場体験を位置づけ、各事業所や関係各機関の協力を得て実施した。

##### (2) 特色ある学校づくりの推進

各小中学校がそれぞれの地域性等による独自性を活かした事業推進への取り組みを支援することを目的とした新たな交付金制度を25年度に設け、30年度においても引き続き各校において有効的な活用を行うことができた。

##### (3) 一人ひとりの教育的ニーズの把握と特別支援教育の充実

教員の指導力向上とともに児童生徒の特性に対応した支援の充実を図るため、特別支援教育相談員や特別支援教育支援員としての介助員の継続配置とともに、介助員については年2回の研修会を実施した。また個に応じた支援の充実、支援の必要な児童生徒への就学指導機関である就学指導審議会の運営を行った。

##### (4) 食育の実践

学校給食を食事摂取の目安量として望ましい食生活の実践につなげ、体重の適正化等を図るための取り組みとして、30年度においても前年度と同様に三春中学校をモデル校として文部科学省委託「つながる食育推進事業」を実施し、健康な食生活と食育環境づくりのための調査及び学習等を行った。

#### 3 学校の教育環境整備

##### (1) 計画的な工事の実施

年次計画に基づき、小学校の外壁改修、受変電設備・給水ポンプの改修工事を実施し、中学校については簡易防球フェンス設置工事を実施することにより教育環境の改善と質的向上を図ることができた。

また、小中学校ともに特別支援学級の増加に伴い教室設置工事を実施した。

##### (2) 施設設備等の修繕

小中学校ともに不具合の生じた各種設備や管理備品等については、迅速な修繕対応を行い、児童・生徒の安全確保と利便性向上に努めた。

# I 総務

## 1 教育委員会

教育委員

教育長	高橋正美
教育長職務代理者	武地優子
委員	宗像俊樹
委員	宮田美穂
委員	渡辺勉

## 2 教育委員会招集回数及び提出案件

(1) 招集回数 定例会 8回 4・5・7・8・9・11・2・3月  
臨時会 2回 7・3月

(2) 提出案件 49件

- ①教育委員会の所管する学校、その他の教育施設の管理・運営に関すること。(規則の制定・改廃等)
- ②教育財産の管理に関すること。(予算を含む)
- ③教育委員会及び教職員の人事に関すること。(各種委員の委嘱を含む)
- ④学齢児童生徒の就学に関すること。(要保護及び準要保護児童生徒の認定)
- ⑤その他、教育施策全般に関すること。

## 3 小・中学校児童生徒及び教職員数 (平成30年5月1日現在)

(1) 小学校

(人、学級)

学校名		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	計
三春小	児童数	46	47	52	49	52	49	(24)	295
	学級数	2	2	2	2	2	2	4	16
岩江小	児童数	44	37	47	49	23	35	(16)	235
	学級数	2	2	2	2	1	2	2	13
御木沢小	児童数	6	15	11	12	9	16	(7)	69
	学級数	1	1	1	1	1	1	2	8
中妻小	児童数	8	7	7	10	12	8	(3)	52
	学級数	1		1	1	1	1	1	6
中郷小	児童数	11	12	8	16	12	20	(4)	79
	学級数	1	1	1	1	1	1	1	7
沢石小	児童数	10	6	6	8	4	11	(9)	45
	学級数	1	1		1		1	2	6
合計	児童数	125	124	131	144	112	139	(63)	775
	学級数	8	7	7	8	6	8	12	56

※ ( ) は内数

## (2) 中学校

(人、学級)

学校名		1年	2年	3年	特別支援学級	計
三春中	生徒数	93	109	122	(23)	324
	学級数	3	3	4	3	13
岩江中	生徒数	43	43	42	(2)	128
	学級数	2	2	2	1	7
合計	生徒数	136	152	164	(25)	452
	学級数	5	5	6	4	20

※ ( ) は内数

## (3) 教職員数

(人)

学校名	教員	養護	事務	栄養	計	学校長名	町費支弁職員	備考
小学校	三春	24	1	1	-	26	箭内良一	8.0 (内部作業員1、介助員7)
	岩江	19	1	1	-	21	遠藤俊一	4.0 (内部作業員1、介助員3)
	御木沢	12	1	1	-	14	宗形祐司	3.0 (内部作業員1、介助員2)
	中妻	10	1	1	-	12	市川潤一	2.5 (内部作業員1.5、介助員1)
	中郷	11	1	1	1	14	佐藤千昭	4.5 (内部作業員1.5、介助員3)
	沢石	10	1	1	1	13	御代田光史	6.0 (内部作業員1、介助員3、非常勤講師2)
	計	86	6	6	2	100	-	28.0
中学校	三春	25	1	1	1	28	佐藤和典	6.0 (内部作業員1、介助員4、司書1)
	岩江	13	1	1	-	15	角田健司	2.0 (内部作業員1、介助員1)
	計	38	2	2	1	43	-	8.0
合計	124	8	8	3	143	-	36.0	

## II 教育指導

## 1 学校経営懇談会 8回/年

各小・中学校長、教育長、教育次長、指導主事による教育上の諸問題の解決並びに学校経営充実のための検討や協議、情報交換を実施した。

第1回 平成30年度「三春の教育」のスタートにあたって

第2回 不祥事根絶のための行動計画について

第3回 いじめの認知、いじめ調査、不登校対応について

第4回 各学校の学力向上に向けて(全国学力テストの結果から)

第5回 道徳科における授業改善、評価について

第6回 「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」の情報交換、活用について

第7回 児童生徒への体罰防止対策について

## 第8回 今年度の総括と次年度の計画について

### 2 学校教育研究員会 8回/年

一人ひとりの子どもを生かす教育を、より発展充実させるために、2つのテーマ（①ユニバーサルデザインの考えを生かした授業づくり ②幼保小のスムーズな接続を目指したスタートカリキュラム・アプローチカリキュラムづくり）に基づいて、授業検証、視察研修、資料づくり、研究報告書の作成、研究発表会等を実施した。

#### (1) テーマごとの取り組み

- ① 小学校社会科・中学校英語科の教科指導のあり方について、ユニバーサルデザインの考えを生かした「支え合い学び合う授業づくり」の研究を行った。また、子どもの「個性」を重視した取り組みを図った。
- ② 幼稚園、小学校の教員や保護者のアンケートをもとに、幼保小の円滑な接続のためにどのような活動が大切なのかをまとめ、スタートカリキュラム・アプローチカリキュラムの作成、実践を行った。

#### (2) 研究成果の報告

2月13日に三春交流館「まほら」で研究発表を行い、町内外の教職員等、約150名が参集した中で報告・質疑とグループ協議が行われた。

### 3 学力向上推進支援事業 通年

#### (1) 児童・生徒の学力の実態把握

年度当初に各学校の小学2年生～5年生、中学1年生～2年生の児童生徒を対象に総合学力調査（ベネッセ）を実施し、学力の実態及び生活習慣を含む意識を把握した。各学校では、学年及び学級、教科ごとに結果を分析し、学力の実態を把握し、追指導や次年度の指導計画の改善に生かした。

#### (2) 検査結果の分析に基づいた授業改善

学力向上推進委員会を開催し、検査結果分析をもとにした各学校の学力向上プランの実践と改善について協議を行った。夏休みには、各学校の学力向上担当者を対象に、総合学力調査結果報告研修会を実施した。

また、教師の指導力の向上と各中学校単位部会毎の小・中連携を推進するために、国語科、算数・数学科、英語科等について授業研究会を開催した。各学校においても校内研修として授業研究会が開催された。

#### (3) 全国学力・学習状況調査

全ての学校において実施された。調査終了後においては学校独自に分析を行い、児童生徒への指導や授業改善に活用した。

### 4 コミュニティ・スクール（学校運営協議会）推進事業

#### (1) 町内すべての小・中学校をコミュニティ・スクールに指定

平成30年度についても、各地区の小・中学校をコミュニティ・スクール（学校運営協議会）として指定し、保護者や地域住民が学校運営に参画し、それぞれが責任を分かち合いながら、学校運営に携わっていくことで、地域に開かれ、地域に支えられた学校づくりのより一層の実現を目指して取り組んだ。

#### (2) コミュニティ・スクール（学校運営協議会）推進

文部科学省開催の「地域とともにある学校づくり推進フォーラム」12月の東京大会に、教育委員会指導主事が参加した。全国の先進的な取り組み事例等の聴講等、各種の研修を経て、今後のコミュニティ・スクールの推進に多くの示唆を得た。

## 5 キャリア教育の取り組み等

児童生徒が主体的に自己の進路について考え、社会人・職業人として自立していくことができるよう、地域や関係各機関と連携しながら、小学校からの系統的なキャリア教育を引き続き推進した。

中学2年生の教育課程に職場体験を位置づけ、関係各事業所の協力を得て実施することができた。その後の生徒への意識調査結果として、社会で働くことの意識の高まりが見られた。また、将来的なスキルアップを図るために中学生の英語検定及び漢字検定受検への支援を行った。

## 6 特別支援教育の取り組み

- (1) 特別支援学級等担当者会を年2回開催し、小中学校担当者が現状と課題についての認識を深めるとともに、児童生徒への対応等について共通理解を図った。また、1月には幼稚園・保育所と小学校、小学校と中学校の新入学児童生徒への対応等に関する情報交換の打ち合わせを各学校等において実施した。
- (2) 特別支援教育講演会を開催し、特別支援教育に対する理解が深まるとともに、教員の指導力向上が図られた。また、介助員研修を年2回行い、介助員の役割を学ぶとともに、お互いの悩みを交流することによって解決策を話し合うことができた。

# Ⅲ 学校管理

## 1 学校の教育環境整備

老朽化等への対応として、岩江小学校外壁改修工事、三春小学校受変電設備改修工事、岩江小学校給水ポンプ交換工事、三春中学校簡易防球フェンス設置工事を実施した。

平成31年度の特別支援学級増加に伴う教室設置工事を岩江小学校、三春中学校に実施した。

また、施設及び設備の破損・故障等については迅速に対応し、適時修繕を行った。

## 2 フッ化物洗口事業

三春町を含む田村地方は、震災以降の生活環境の変化を含め全国的にみても子どものむし歯有病率が高く予防が喫緊の課題であった。そのため、平成28年度より福島県が実施する「子どものむし歯緊急対策事業」によるフッ化物洗口事業を活用しむし歯予防を進めてきた。

平成30年度も子どものむし歯有病状況の低減を図ることを目的とし、上記事業を活用し町内のすべての幼稚園・保育所・小学校でフッ化物洗口を実施した。

- ・対象者：満4歳～小学6年生
- ・総事業費：342,682円（内県補助額294,000円）

また、各学校・施設の実施率は次表のとおりである。

学校名	対象児数 (人)	実施人数 (人)	実施率 (%)	施設名	対象児数 (人)	実施人数 (人)	実施率 (%)
三春小	296	287	97.0	第1保	46	46	100
岩江小	237	236	99.6	第2保	28	28	100
御木沢小	70	70	100	北保育所	18	18	100
中妻小	52	52	100	岩江幼	58	57	98.3
中郷小	79	72	91.1	中郷幼	23	23	100
沢石小	45	45	100	三春幼保	46	46	100
小合計	779	762	97.8	幼保合計	219	218	99.5

### 3 教職員メンタルヘルス事業

教職員のストレスの程度を把握し自身のストレスへの気づきを促すとともに、職場の改善につなげて働きやすい職場づくりを勧めることによってメンタルヘルス不調になることを未然に防ぐことを目的としたストレスチェックを、町内の小中学校に勤務する教職員を対象に実施した。

## IV 教育振興

### 1 就学援助

#### (1) 要保護・準要保護児童生徒の認定及び就学援助費

経済的な理由により町からの支援を認定された要保護・準要保護児童生徒の数は、小学校161名（全児童総数の20.8%）、中学校84名（全生徒総数の18.6%）、小学校入学予定者17名の計262名であった。このほか、原発事故等による被災者への支援は、小学校17名、中学校15名、小学校入学予定者3名の計35名であった。

また、就学援助費の額は、小学校12,400,073円、中学校13,836,109円、小中学校入学予定者2,044,400円の合計28,280,582円であった。

#### ① 小学校

(円)

	人数	学用品費等	校外活動費	修学旅行費	新入学用品費	PTA会費	生徒会費	給食費	計
経済的理由	161	2,033,563	149,118	386,142	121,800	350,326	1,523	8,109,006	11,151,478
被災	17	229,820	13,249	80,676	0	37,800	0	887,050	1,248,595
計	178	2,263,383	162,367	466,818	121,800	388,126	1,523	8,996,056	12,400,073

#### ② 中学校

(円)

	人数	学用品費等	校外活動費	修学旅行費	新入学用品費	PTA会費	生徒会費	クラブ活動費	給食費	計
経済的理由	84	1,933,352	100,750	2,347,234	94,800	203,097	186,294	2,242,199	4,644,420	11,752,146
被災	15	354,870	9,400	400,983	0	40,400	32,800	414,400	831,110	2,083,963
計	99	2,288,222	110,150	2,748,217	94,800	243,497	219,094	2,656,599	5,475,530	13,836,109

#### ③ 小中学校入学予定者

(円)

小学校入学予定者	人数	入学準備金
経済的理由	17	690,200
被災	3	121,800
計	20	812,000

中学校入学予定者	人数	入学準備金
経済的理由	23	1,090,200
被災	3	142,200
計	26	1,232,400

#### (2) 特別支援教育就学奨励費

特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担軽減のため、就学奨励費を支給した人数は、小学校35名、中学校8名の計43名、奨励費の合計は1,031,614円であった。

(円)

	人数	学用品費等	校外活動費	修学旅行費	新入学用品費	給食費	通学費	計
小学校	35	91,360	12,037	21,180	60,900	416,542	146,170	748,189
中学校	8	55,800	3,565	56,670	23,700	141,050	2,640	283,425

## (3) 介助員の配置

特別支援学級等の介助員として小学校6校、中学校2校に計24人を配置した。

## 2 学校のコンピュータ整備状況

各小・中学校のコンピュータの整備台数については、小学校が282台、中学校140台の合計422台で、使用形態は次表のとおりである。

平成30年度のコンピュータ、ソフトウェア及びプリンター等周辺機器のリース料は、小学校で8,876,304円、中学校3,529,267円の合計12,405,571円であった。

各校の台数

(台)

学 校 名	台 数	使用形態		備 考
		教育用	校務用	
三 春 小	80	51	29	タブレット端末18台含
岩 江 小	63	42	21	タブレット端末8台含
御 木 沢 小	35	22	13	タブレット端末3台含
中 妻 小	34	20	14	タブレット端末3台含
中 郷 小	37	25	12	タブレット端末4台含
沢 石 小	33	18	15	
小学校計	282	178	104	
三 春 中	79	50	29	タブレット端末15台含
岩 江 中	61	45	16	タブレット端末4台含
中学校計	140	95	45	

## 3 就学指導審議会による就学指導及び相談後の就学先

発達の遅れ等により就学における支援の必要性等を審議する三春町就学指導審議会における平成30年度就学指導状況は以下のとおりであった。

就学相談件数等

(人)

指導依頼 受理人数	答申内容			相談後の就学先		
	通常学級 入級適	特別支援 学級入級適	特別支援 学校入校適	通常学級	特別支援 学級	特別支援 学校
72	36	29	4	38	28	3

- ・通常学級36人中、23人は通級指導教室適
- ・指導依頼の取下げ 3名



#### 4 要田地区小中学校の教育事務の受委託

「田村市と三春町の園児及び小学校学齡児童の教育事務の委託に関する規約」に基づき、田村市へ委託した教育事務の委託料は次のとおりであった。

・要田小学校教育事務委託料 8,251,000 円（田村市への委託料）

#### 5 特色ある学校づくり支援事業

各校が特色ある学校づくりを推進するための事業の企画、立案及び事業の実施に対して、円滑かつ着実な事業展開を促進するための交付金制度を25年度より設けている。

学校名	事業内容等	金額
三春小	ユニバーサルデザイン授業の推進、特設部活動の充実と地域で共に歩む学校づくり	300,000 円
岩江小	望ましい集団づくりの形成。道徳・外国語科・キャリア教育など新しい教育課題への備え	300,000 円
御木沢小	言語活動や体験活動の充実と発展的学習、郷土学習と地域とのふれあい活動	300,000 円
中妻小	体験活動を通じた豊かな感性の育成と地域と連携した学習活動、本物に触れる体験学習	274,000 円
中郷小	地域体験活動を通じたキャリア発達を高める教育活動の推進、より良い人間関係づくり	300,000 円
沢石小	読書環境の充実、各種テストの実施等を通してより確実な学力向上を図る。少人数のメリットを生かした全校児童での活動推進	300,000 円
三春中	音楽・文化・体育活動推進を軸とした生徒が主役の学校づくり、新三春中の伝統づくり	300,000 円
岩江中	本物に触れる美術活動・体験活動による豊かな感性の醸成、地域と連携した学校づくり	300,000 円

## V 学校給食

### 1 学校給食の年間実施回数

#### (1) 小学校

(日)

学校名	三春小	岩江小	御木沢小	中妻小	中郷小	沢石小
実施回数	191	194	192	190	193	194

#### (2) 中学校

(日)

学校名	三春中	岩江中
実施回数	193	177

## 2 調理及び配送の業務委託

### (1) さくら共同調理場及び沢石共同調理場調理・配送業務委託について

さくら共同調理場、沢石共同調理場の給食調理及び配送業務は、平成28年度から平成30年度までの3年間、次の業者と業務委託の契約を締結している。委託料は3年間の総額で43,383,600円である。

委託業者 福島県郡山市中町5-1 株式会社 メフォス  
平成30年度委託料 14,461,200円

#### 共同調理場での調理食数 (食)

共同調理場名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
さくら共同調理場	2,499	3,911	3,845	2,717	1,006	3,240	3,737
沢石共同調理場	2,655	3,763	3,723	2,612	1,006	3,079	3,884
計	5,154	7,674	7,568	5,329	2,012	6,319	7,621

11月	12月	1月	2月	3月	合計
4,081	2,950	3,266	3,810	2,537	37,599
3,972	2,714	3,103	3,482	2,429	36,422
8,053	5,664	6,369	7,292	4,966	74,021

### (2) 岩江小学校・幼稚園及び岩江中学校給食調理・配送業務委託について

岩江小学校・幼稚園、岩江中学校の給食調理及び配送業務を、平成29年度から令和元年度までの3年間、次の業者と業務委託の契約を締結している。委託料は3年間の総額で32,853,600円である。

委託業者 福島県郡山市西ノ内二丁目17-7  
シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 福島営業所  
平成30年度委託料 10,951,200円

#### 岩江小学校・幼稚園及び岩江中学校での調理食数 (食)

調理場名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
岩江小学校・幼稚園	5,010	7,200	7,331	4,731	1,804	5,657	7,086
岩江中学校	1,480	2,525	2,664	1,924	740	2,220	2,664
計	6,490	9,725	9,995	6,655	2,544	7,877	9,750

11月	12月	1月	2月	3月	合計
7,350	5,028	5,678	6,442	4,605	67,922
2,960	2,220	2,368	2,664	1,542	25,971
10,310	7,248	8,046	9,106	6,147	93,893

(3) 三春中学校給食調理業務委託について

三春中学校の給食調理業務を、平成30年度から令和2年度までの3年間、次の業者と業務委託の契約を締結している。委託料は3年間の総額で33,922,800円である。

委託業者 福島県郡山市中町5-1 株式会社 メフォス  
平成30年度委託料 11,307,600円

三春中学校での調理食数 (食)

調理場名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
三春中学校	4,348	6,291	7,058	5,046	1,808	5,602	7,222

11月	12月	1月	2月	3月	合計
7,503	5,357	6,043	6,870	3,859	67,007

(4) 三春小学校給食調理業務委託について

三春小学校の給食調理業務を、平成28年度から30年度までの3年間、次の業者と業務委託の契約を締結している。委託料は3年間の総額で31,428,000円である。

委託業者 福島県郡山市中町5-1 株式会社 メフォス  
平成30年度委託料 10,476,000円

三春小学校での調理食数 (食)

学校名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
三春小学校	4,718	6,626	6,753	4,655	1,607	5,347	5,741

11月	12月	1月	2月	3月	合計
6,015	4,666	5,663	5,909	4,670	62,370

(5) さくら・沢石共同調理場運営委員会の開催

さくら・沢石共同調理場業務の適正・円滑な運営のため、関係学校の校長、教頭、栄養職員、保護者代表、教育委員会職員等で組織した運営委員会をさくら・沢石の両共同調理場で年2回開催し、共同調理場の問題点等について協議した。

また、さくら共同調理場においては、給食事務担当者会を年2回開催し、調理場、受配校、教育委員会間で事務内容等の打合せを行った。

3 給食における放射性物質対策について

給食における検査は、前日の食材検査と事後検査の給食まるごと検査（給食完成品検査）を三春の里ベクレルセンターにおいて実施した。食材検査の検出下限値は20ベクレル/kg、まるごと検査は10ベクレル/kgであるが、いずれの結果も検出下限値を下回っており、安全な給食を提供することができた。主食の米は三春町産を継続して使用したが、安全性を再確認するため、三春の里ベクレルセンターにおいても検査を実施し、検出下限値を下回っていることを確認したうえで使用した。

なお、これらの結果は、町ホームページや学校だより等で保護者に情報提供を行った。

4 つながる食育推進事業の実施について

平成29年度に引き続き、三春中学校が文部科学省委託「つながる食育推進事業」のモデル校に指定され、～生徒の「今」、そして、「未来」につながる食に関する指導～を取り組みテーマとし食育を実践した。

具体的な取組みとして、生徒一人一人の生活習慣と運動量・体格等の実態の把握・分析により個々の課題を生徒自らに把握させ、課題に応じて主体的に望ましい食習慣について考えさせること、食生活の課題と変容を把握させる食育と保健体育科を中心とした身体活動プログラムへの取組み、給食試食会や料理教室を通じて家庭へ食について啓発する活動などを実践した。

これらの取組みを通して、望ましい食習慣を形成し、現在さらには未来につながる食に関する自己管理能力を身につけることを目的とした。

また、平成30年度より新たな取組みとして、7月と11月に実施される教育相談時に肥満・痩身や食に関する相談項目を設定し、年間を通して保健指導と食に関する相談を関連させ、食と健康の意識向上を図った。これにより栄養教諭、養護教諭、学級担任が定期的な発育測定から生徒一人一人の変容を把握することが可能となり、教職員同士もつながることができた。

・総事業費 1,082,360円（国：10/10委託事業）

# 教育委員会 生涯学習課

## 生涯学習グループ

### 平成30年度重点施策の進捗状況

#### 1 町民のニーズに対応した生涯学習機会の提供及び芸術文化活動の推進

- ・明徳大学を中心とした高齢者学級の開催や自主活動を積極的に行う団体への支援を実施。
- ・地域学校協働本部事業を行い、学校と地域との連携を図り、地域全体で学校教育を支援した。
- ・町広報誌やホームページ等を利用し、交流館情報や生涯学習情報の効果的な提供を行った。
- ・三春交流館「まほら」を中心として、文化祭開催や生涯学習団体への学習機会の場の支援を行うことにより、より多くの町民が学習活動を進めることができた。
- ・三春交流館「まほら」開館15周年記念事業として、三春交流館と三春交流館運営協会による自主事業6公演を開催した。

#### 2 国際交流事業の推進

##### (1) 青少年派遣事業

##### ① アメリカ短期留学（第12回アメリカサマーキャンプ）

- ・三春町内中・高校生12名と引率者3名を姉妹都市ライスレイク市に派遣し、ホームステイを通してのアメリカ生活体験、現地高校生との交流を行った。

##### ② ライスレイク高校卒業生受け入れ

- ・ホームステイを通し、日本の生活や盆踊り等伝統文化の体験、中高校生との交流を提供した。

##### ③ ライスレイク高校交換留学生派遣者選定

- ・令和元年9月～令和2年6月派遣候補者1名を決定し、派遣に向けての準備を行った。

##### (2) 「三春町国際交流館ライスレイクの家」の維持管理と運営

- 指定管理者であるNPO法人三春町国際交流協会が宿泊や喫茶などのサービスを提供した。

#### 3 自然教室の充実

##### (1) 「さくら湖自然観察ステーション」の維持管理と運営

- ・さくら湖指定管理者株式会社三春まちづくり公社が施設見学の受入、会議室等の貸し出しを行った。
- ・施設の修繕工事を行うなど、施設の維持管理に努めた。

##### (2) 各種観察会及び自然環境フォーラム等の開催

- ・さくら湖自然観察ステーション企画運営委員を講師とした各種観察会を実施した。
- ・三春ダム20周年記念さくら湖自然環境フォーラム2018を応用生態工学会仙台と共催し、記念講演会や東北地域研究発表会などを開催した。三春ダムを通し、環境保全の在り方及び今後の課題を考える機会を提供した。
- ・さくら湖周辺の自然に親しみ、ダムの役割や水環境保全の大切さを考えることを目的としたさくら湖自然教室を実施した。

#### 4 三春交流館「まほら」及び地区交流館の適正な維持管理と運営

##### (1) 三春交流館「まほら」の建物の劣化状況に応じた適切な維持保全をすべく、長寿命化計画に基づき、工事を実施した。

- ・舞台機構改修工事、舞台ボーダーケーブル交換工事等

##### (2) 保守点検において指摘のあった事項について速やかに修繕対応を行った。

##### (3) 分館長を委嘱し、地区交流館の適正な管理運営を行った。

##### (4) 地区交流館の劣化状況に応じた工事を行った。

- ・要田地区交流館グラウンド整備工事、沢石会館内部洋式トイレ交換工事等

## 1 運営方針

- (1) 学習の機会を提供するとともに、各関係機関と連携し生涯学習の推進を図る。
- (2) 姉妹都市交流を柱に国際交流事業の推進を図る。
- (3) 自然に学び、自然と人間が共生するための学習活動を提供する。
- (4) 三春交流館「まほら」を中心に、町民の芸術文化・学習・展示活動の場と機会の提供を行う。

## 2 職員組織

主幹2人、主任主査1人、主査1人、主事1人、社会教育指導員（嘱託職員）1人、臨時職員1人

## 3 委員会等に関する事業

- 社会教育委員…青少年及び成人に対して行われる教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、その他関係者に対し、助言と指導を行う。
- 生涯学習を進める町民会議…町民の意見を行政に反映させ、町民の生涯学習の普及・推進を図る。
- 青少年問題協議会…青少年の指導・育成・保護及び矯正に関する総合的施策の事項について、調査審議する。
- さくら湖自然観察ステーション企画運営委員会…さくら湖自然観察ステーションで行う事業運営について審議する。

事業名	人数	時期	内容	場所
社会教育委員	5	5月8日	県社会教育委員連絡協議会理事会総会（会長参加）	郡山市総合福祉センター
		5月15日	第1回社会教育委員の会議 委嘱状交付 平成30年度事業計画審議 報酬 23,200円	三春交流館「まほら」
		5月25日	田村地区社会教育委員連絡協議会総会（委員3名・事務局1名参加）	田村市役所
		10月4日 ～5日	県社会教育研究集会 （委員2名・事務局3名参加）	いわき市文化センター他
		12月13日 ～21日	第2回社会教育委員の会議 紙面会議 生涯学習G・図書館活動への意見	三春交流館「まほら」
		3月19日	第3回社会教育委員の会議 平成30年度事業結果報告 意見交換 報酬 23,200円	三春交流館「まほら」
生涯学習を進める町民会議	12	5月22日	委嘱状交付 平成30年度事業計画審議 報酬 58,000円	三春交流館「まほら」
		3月27日	平成30年度事業報告 意見交換 報酬 52,200円	
青少年問題協議会	17	5月30日	各団体の活動計画について 報酬 40,600円	三春交流館「まほら」
		11月2日	各団体の活動中間・追加報告について 健全育成標語コンクール審査会 報酬 40,600円	
さくら湖自然観察ステーション企画運営委員会	10	4月21日	平成30年度事業計画審議	さくら湖自然観察ステーション
		2月28日	平成30年度事業結果報告 平成31年度事業計画案について	

#### 4 生涯学習事業の推進

(1) 青少年健全育成事業…21世紀の社会を形成する青少年に対し、家庭・学校・地域がそれぞれの役割及び責任を果たしつつ、相互に協力しながら社会全体で青少年の健全育成を図る。

##### (ア) 地域学校協働本部事業

学校と地域との連携を図り、地域全体で学校教育を支援する体制の整備  
 総事業費 367,782円 (内県委託金 365,600円)

実施機関	コーディネーター	内容	関係団体
岩江小学校	兼任 1人	以下の学校活動の支援について、学校からの依頼を受け、コーディネーターが、地域の指導者やボランティアとの連絡調整を行い実施した。 ○地域の中に安全に出て行き、地域の人々と交流する機会を増やす。	まちづくり協会、老人クラブ、小・中PTA、地域の企業団体、個人登録ボランティア
岩江中学校			
御木沢小学校	1人	・地区敬老会、地区文化祭へのボランティア活動参加。 ・地区の歴史を学ぶ学習でのフィールドワーク。	
沢石小学校	1人	・農業公園の水田で稲作を体験。	
中妻小学校	1人	○地域の方々が学校に行き、各人の技術や地域の伝統などを伝える。また、環境整備活動を一緒に行うことにより、子どもの地域への愛着を育てる。	
中郷小学校	1人	・ミシン実習援助 ・昔遊び学習 ・地域の歴史学習 ・学校畑や学校田実習 ・環境整備活動 ・昔遊び ・滝桜 ・戦争体験の授業援助	

##### (イ) 成人式

人数	時期	内容	場所
対象者 185人 出席者 153人	1月13日	新成人を祝う式典開催 成人証書・祝辞集作成配付	三春交流館「まほら」

#### (2) 高齢者教育事業

高齢化社会が進む中で、高齢者に対するの期待は大きく、集団学習を通して地域のネットワークを創り、生き方を学び合い、健康で明るく生活できる教養を身につけ、自立した地域社会づくりを推進する。

##### (ア) 中央高齢者学級

事業名	人数	時期	内容	場所	
明德大学 1・2年生	1年 40人 2年 33人	月 1回	4月	入学式・始業式・教育長講話	三春交流館 「まほら」他
			5月	歴民学習 H30年春季企画展	
			6月	1年 教養学習「議会傍聴」 2年 健康学習「高齢者の医療制度と健康寿命を延ばす為の食生活」	
			7月	1年 移動学習「町内の施設・文化財めぐり」 2年 教養学習「三春の神様」	
			8月	1年 教養学習「高齢者の交通安全と防犯」 2年 教養学習「遺言と遺産相続」	
			9月	1年 教養講座「座禅と法話」 2年 教養学習「議会傍聴」	
			10月	1年 教養学習「人権擁護と成年後見について」 2年 移動学習「県農業総合センター等」	

事業名	人数	時 期	内 容	場 所
		11月	1.2年 移動宿泊学習「JAXA 見学と成田山新勝寺の旅」	三春交流館 「まほら」他
		12月	1年 健康学習 「医学講座」 2年 自分史講座「簡単手づくり誰にでもできる自分史」	
		1月	新春町長講話「町政全般について」	
		2月	1年 教養学習「テーブルマナー教室（和食）」 2年 学級懇談会「2年間を振り返って」	
		3月	卒業式・修了式	

(イ) 地区高齢者学級

事業名	人数	時 期	内 容	場 所
三春・沢石・要田・御木沢・岩江・中郷地区高齢者学級	三春 49人 沢石 51人 要田 33人 御木沢 23人 岩江 44人 中郷 37人	月 1回	<b>開講式・閉講式</b> <b>教養学習</b> -町長講話・教育長講話・歴史学習・遺言と遺産相続・日本の皇族・交通安全教室・人権講話・議会傍聴・ごみの分別と施設見学・陶芸教室・福祉講座 <b>健康学習</b> -健康講話・スポーツ教室・料理教室 <b>移動学習</b> -山形・茨城・宮城・栃木・福島・郡山・会津・白河各方面 を実施	各地区交流館他

5 生涯学習機会の提供・学習活動の推進

(1) 各種講座

事業名	時 期	内 容	場所等
パソコン町民講座	① 6月20日・22日 26日・28日	パソコン操作の基礎、ワード、エクセルの利用など、高齢者、初心者向けのパソコン講座 ① 初心者向けワード講座・2名 ② 初心者向けエクセル講座・3名 講師：三春町パソコン講座連絡協議会	三春交流館 「まほら」
	② 7月4日・6日 10日・12日		
インターネット・タブレット講座	1月23日・25日	インターネットを利用するための、パソコン、タブレットの使い方・10名 講師：福島シニアネット	

(2) 団体育成・支援…自主活動を積極的に行うための団体に対し必要な支援を行う。

事業名	団体数	時 期	団体の支援	補助金・交付金
各種団体支援	4	随時	① 三春町婦人会	① 100,000円
			② 生涯学習支援ボランティアの会	② 200,000円
			③ 三春町国際交流協会	③ 371,800円
			④ 三春町文化団体連絡協議会	④ 0円



(3) 生涯学習情報提供…IT・広報等を有効に活用し、学習情報の効果的な提供を行う。

事業名	時 期
町広報・交流館機関紙「交流館ニュース」	発行、毎月1日
町ホームページ・交流館ホームページ	随時更新
さくら湖自然観察ステーション 観察会の周知	年間の行事予定を4月の校長会にて配付 三春まちづくり公社ホームページで広報 広報みはるで毎月の観察会を周知

## 6 国際交流事業の推進

(1) 姉妹都市交流…姉妹都市アメリカ合衆国ウィスコンシン州ライスレイク市との交流により、国際理解と町の国際化を推進し、ホームステイをとおして「草の根」の交流を深める。

### ○青少年派遣事業

事業名	時 期	内 容
アメリカサマーキャンプ派遣事業	4月15日～ 5月15日	平成30年度アメリカ短期留学（アメリカサマーキャンプ）参加募集 派遣団員12名決定
	5月23日	第1回オリエンテーション
	6月9日・23日 7月7日	事前研修
	7月23日	結団式と第2回オリエンテーション
	8月1日～10日	平成30年度アメリカ短期留学派遣団 15名 ライスレイク市活動 ・ホームステイを通してのアメリカ生活体験 ・現地高校生との交流 ・ライスレイク高校見学等 ロサンゼルス市活動 ・野球観戦等
	8月25日・9月1日	報告書作成
	9月8日	解団式
	参加者報償 2,936,000円 (2/3以内の補助) 引率者報償 1,176,000円 個人負担金 1,708,000円 (12名分)	
ライスレイク高校卒業生受け入れ 1名	8月10日～22日	・ホームステイを通しての日本生活体験 ・盆踊り ・ショッピング ・日本の学生との交流等
ライスレイク高校交換留学生派遣事業	11月15日～ 12月26日	平成31年度ライスレイク高校交換留学生参加者募集
	1月26日	平成31年度ライスレイク高校交換留学生選考会 留学候補者決定 田村高校1年生
	随時	打合せ、申請書作成
国際交流支援員	報償 月15,000円	

## (2) ライスレイクの家施設運営管理 (指定管理)

指定管理料 2,980,000 円

事業名	時期	内容
国際交流館管理	4月1日 ～3月31日	・指定管理者「特定非営利活動法人三春町国際交流協会」による施設管理運営。 宿泊・喫茶業務 施設の保全

## (3) ライスレイクの家施設管理 (指定管理外)

事業名	時期	内容
国際交流館管理	4月1日 ～3月31日	指定管理者の契約業務外の緊急または規模の大きい修繕等 5月：特定小規模施設用自動火災報知機等設置 7月：防火カーテン付替 3月：ブラインド、窓等破損箇所修繕工事 修繕 63,720 円 工事 1,210,680 円

## (4) ライスレイクの家利用実績

## ○ライスレイクの家 宿泊、喫茶利用状況

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	比較(30年度/29年度)
宿泊	63人	75人	42人	56%
喫茶(会議)	2,091人	1,955人	2,418人	124%

## ○学習会、イベント開催状況

	イベント等名称・内容	参加者
4月～2月	数楽カフェ (和算・世界の数学)	85名
6月26日	パトリシアさんさよならパーティー	19名
7月5日	ハワイ高校生ウェルカムパーティー	20名
7月21日	アメリカサマーキャンプ結団式	22名
7月31日	アフリカ マコンデ族 コンサート	34名
8月20日	ソーヤ・デニソン君送別会	22名
12月18日	クリスマスパーティー	15名
1月26日	ライスレイク高校留学生派遣事業 面接・選考会	7名

## 7 さくら湖自然観察ステーションとの連携

(1) 各種観察会…町外での観察会のほか各種教室等を行い、自然に親しむ機会や環境問題などを考える場を提供する。

事業名	人数	時期	内容	場所・講師・対象者等
森と湖に親しむさくら湖自然教室2018	142	7月29日	さくら湖及びその周辺で水上探検、水生生物観察、昆虫観察教室として自然観察をすることで自然に触れ自然の豊かさを確認する。	三春ダム周辺・大滝根川流域の小学生とその親

事業名	人数	時期	内容	場所・講師・対象者等
三春ダム 20周年記念 さくら湖 自然環境 フォーラム 2018	350	11月 9日	<p>1日目 さくら湖自然環境フォーラム 「まほら」ホール テーマ：三春ダム（さくら湖）ができて20年～生き物の大切さを学ぶ ＜研究報告・発表＞</p> <p>① 「さくら湖自然観察ステーション企画運営委員の活動」 ② 「三春ダムができて20年の自然環境の変遷」 ③ 「三春の自然を守り隊」 ④ 「中郷の水環境」 ⑤ 「お米ができるまで～田んぼで見つけた生きもの～」</p> <p>＜記念講演＞ 「生物多様性とはなにか？なぜ守るのか？」</p> <p>＜ダム関連の展示＞</p>	<p>三春交流館「まほら」 まほらホール</p> <p>①山口登美男（さくら湖自然観察ステーション企画運営委員） ②片寄仁（三春ダム管理所専門官） ③中妻小3,4年生児童 ④中郷小4年生児童 ⑤岩江小5年生児童</p> <p>五箇公一（国立環境研究所主任 研究員・室長）</p> <p>小ホール</p>
	220	11月 10日	<p>2日目 応用生態工学会仙台 東北地域研究 発表会・シンポジウム 【午前の部】 平成30年度東北地域研究発表会 ポスターセッションによる発表 【午後の部】 公開シンポジウム「さくら湖ができて20年でわかったこと」</p> <p>■基調講演 「さくら湖建設当時の環境に対する思い」 「ダム湖水質の将来と予防－温暖化と土地利用の視点から－」 「環境DNAを利用した生態系観測－現状と今後の展開」</p> <p>■パネルディスカッション 「三春ダム建設後20年間の水質の変化」「さくら湖での外来魚問題への取り組み」「三春ダムをとりまく植物的環境」「さくら湖管理者としての環境への取り組み」「さくら湖の環境に対する要望」</p>	<p>小ホール 発表者16名 入賞者（優秀賞・審査員賞） 計5名 まほらホール</p> <p>講師 伊藤寛（元三春町長） 占部城太郎（東北大学教授） 近藤倫生（東北大学教授）</p> <p>パネリスト 木村文宣（水源地環境センター主任研究員） 中井克樹（琵琶湖博物館専門学芸員） 竹原明秀（岩手大学教授） 中川博樹（三春ダム管理所長） 鈴木義孝（三春町長）</p>

## (2) さくら湖自然観察ステーション施設運営管理(指定管理)

指定管理料 7,200,000 円

事業名	時期	内容
さくら湖自然観察ステーション事業	4月1日～ 3月31日	町民の自然環境に対する理解を深める活動を通し、地域の活性化及び町民の交流に資するものとする。 ① 指定管理者「株式会社 三春まちづくり公社」による施設運営管理 ② 自然観察ステーション企画運営委員により、自然・生物・星の観察等を実施した。 4月 EM菌の発酵・石鹸作り 5月 カブトムシの幼虫採集 6月 陶芸教室・ゲンジボタル観察会 7月 草木染教室(子ども向け)・火星観察会 8月 草木染教室 9月 陶芸教室(子ども向け) 10月 ヘチマ化粧水作り、花炭作り 11月 月の観察会 12月 つるクラフト教室・ウィルタネン彗星観察会・カラーキヤンドル作り 1月 部分日食観察会・凧作り教室・木の実クラフト教室 2月 水鳥観察会 その他 星を見る会(月2回 4月から11月まで) ③ 工事 ・トイレタイル修繕工事(指定管理外)
		84,240 円

## (3) さくら湖自然観察ステーション利用実績

○展示室入場者数(人) \*見学等申込書の集計人数による数(フリー見学は除く)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	前年比
H30 人数	568	624	506	409	516	583	405	231	88	113	114	215	4,372	114.5%
H29 人数	381	531	304	467	539	456	324	307	90	140	116	164	3,819	

○会議室利用者数(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	前年比
H30 人数	94	337	474	1,043	237	303	175	85	142	74	142	223	3,329	119.3%
H29 人数	220	219	198	350	222	363	145	326	153	137	275	183	2,791	

○天体ドーム利用者数(人) ※冬期間(12月～3月)は臨時観察会以外の実施はない。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	前年比
H30 人数	3	13	0	32	41	2	4	7	5	16			123	115.0%
H29 人数	5	35	4	20	0	2	15	3		23			107	

## 8. 文化芸術事業の推進

三春交流館「まほら」を中心に、文化芸術団体や生涯学習団体の発表や学習活動の支援を行う。

(1) 生涯学習団体 49団体

(2) 文化祭の実施

- ① 期 間 10月19日(金)～11月17日(土)
- ② 参加団体 24団体 (ホール発表6、合同展示6、個別発表・展示等12)
- ③ 開幕式典 10月19日(金) 三春交流館「まほら」ホワイエ

【合同展示】10月19日～21日 会場 ホワイエ

行事名	行事名	行事名
編物サークル 毛糸の国からようこそ	パッチワーク すずらんの会作品展	絵手紙サークル 描いてももらっても楽しいのびのび絵手紙
小学生による 税の書道展	NPO法人かたつむり でんでんむし・いちご作品展	ロマンドール紙粘土教室 作品展

【個別展示・発表の部】

日・会場	行事名	日・会場	行事名
10月20日(土)～ 21日(日) 小ホール	池坊、小原、龍生、 合同で催す生け花展	11月3日(土) ホワイエ	茶道宗徧流松春会お茶会
10月21日(日) まほらホール	第37回グルッペ・ムジケ音楽祭	11月3日(土)～ 4日(日) ホワイエ	三春町婦人会 婦人会員の作品展
10月22日(月)～ 24日(水) ホワイエ・小ホール	第48回三春町高齢者 作品展示会・表彰式	11月4日(日) まほらホール	田村高等学校合唱団 第43回定期演奏会
10月23日(火) まほらホール	第28回芸能発表会	11月6日(火) 学習室C・D	三春俳句会 文化祭参加俳句大会
10月26日(金) 和室	三春町民図書館 布絵本講習会	11月9日(金)～ 10日(土) まほらホール	三春ダム20周年記念 さくら湖自然環境フォーラム 2018
10月26日(金)～ 28日(日) ホワイエ	第40回三春美術展	11月9日(金)～ 11日(日) ホワイエ	三春町花木生産振興会 三春秋季盆栽展示会
10月26日(金)～ 28日(日) 小ホール	第30回フォトクラブ 舞鶴写真展	11月11日(日) 文化伝承館	町民囲碁大会
10月27日(土) まほらホール	芸能祭 松蔚流舞扇会・松栄流すみれ会・ 中町舞蹈教室	11月11日(日) まほらホール	みはる歌仲間 カラオケと踊りの発表会
10月30日(火) 小ホール	神道流吟詠会 和歌、吟詠発表会	11月17日(土) まほらホール	第40回民謡歌謡唄まつり

(3) 補助金等の交付 三春交流館運営協会 6,100,000円

9. 貸館利用促進のための施設管理の充実

(1) 地区交流館 6分館長

沢石会館、要田交流館大平荘、御木沢地区公民館、岩江センター、中妻地区公民館、中郷地区交流館

(2) 三春交流館「まほら」維持管理

① 施設建築設備等保守業務 6,773,181 円

空調設備保守点検業務委託	4,782,240 円
消防設備保守点検業務委託	480,600 円
その他業務委託	1,510,341 円

② 施設管理及び清掃業務 4,498,609 円

施設管理（夜間・休日）業務委託	2,182,977 円
清掃及び管理業務委託	1,883,632 円
臨時清掃業務委託	432,000 円

③ 舞台設備等保守管理業務 10,972,368 円

舞台技術者業務委託	8,236,728 円
その他舞台設備保守点検業務委託	2,735,640 円

④ 施設・舞台修繕 2,185,818 円

⑤ 交流館工事 49,032,000 円

吸収式冷温水発生機操作盤改修工事	4,752,000 円
中央監視装置及び自動制御装置更新修繕工事	4,644,000 円
舞台機構改修工事	29,808,000 円
舞台ボーダーケーブル交換工事	9,828,000 円

⑥ 交流館備品購入 1,071,912 円

プロジェクター 2台	149,688 円
展示用パネル用ポールとベース	304,128 円
除雪機	390,000 円
その他	228,096 円

(3) 地区交流館維持管理

① 施設管理等保守業務 1,465,528 円

建築物・建築設備定期報告業務委託	573,048 円
清掃及び管理業務委託	865,480 円
その他業務委託	27,000 円

② 施設修繕 980,767 円

## ③ 地区交流館工事

2,107,080 円

要田地区交流館グラウンド整備工事	994,680 円
沢石会館内部洋式トイレ交換工事	1,112,400 円

## ④ 地区交流館備品購入

71,496 円

## 10. 三春交流館「まほら」と三春交流館運営協会による自主事業

## 三春交流館「まほら」開館15周年記念事業にて6公演実施

月/日	公演名	出演者名	内 容	料 金	入場者数 (販売数)
6/30 (土)	わらび座 ミュージカル KINJIRO! ～本当は面白い二 宮金次郎～	劇団 わらび座	銅像のことしか知らなくても思い っきり楽しめる金次郎の物語 (宝くじ文化公演)	一 般 2,000 円 高校生以下 1,000 円	306 人 (337 枚)
7/29 (日)	三浦章宏 with 三 浦舞夏デュオリサ イタル	三浦章宏 ヴァイオリン 三浦舞夏 ピアノ	「悪魔のトリル」タルティーニ/「無 伴奏ヴァイオリンの為のバルティ ータ第2番」バッハ/「ラ カンパ ネラ」パガニーニ/「即興曲 op.142-3」シューベルト/「愛の喜 び 愛の悲しみ 美しきロスマリ ン」クライスラー/「赤とんぼの主 題による小ファンタジー」福田恵子 /「前奏曲集第2集より花火」ドビ ュッシー/「序奏とロンド・カプリ チオーソ」サン＝サーンス	一 般 2,000 円 高校生以下 1,000 円	143 人 (162 枚)
9/9 (日)	音楽のおくりもの ファミリーコンサ ート	アンサンブ ル・ディヴ ェルターズ	○わいわいコンサート 「アイネ・クライネ・ナハトムジ ーク」モーツァルト/「トルコ行進曲」 ベートーヴェン/楽器紹介 ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・ コントラバス・フルート・ピアノ/ 「おもちゃの交響曲」Lモーツァル ト/「となりのトトロ」「さんぽ」久 石譲/イントロクイズ/「ウィーンの 音楽時計」コダーイ/「Let It Go」 ロペス/ディズニーメドレー  ○アフタヌーンコンサート 「トリッチ・トラッチ・ポルカ」シ ュトラウス/「アイネ・クライネ・ ナハトムジーク」モーツァルト/楽 器紹介/「G線上のアリア」バッハ/ 「くるみ割り人形より花のワルツ」 チャイコフスキー/イントロクイズ /「ふるさと」/「ポロネーズ」「メ ヌエット」「バディネリ」バッハ/ 「天空の城ラピュタより君を乗せ て」久石譲/「サウンドオブミュ ジックメドレー」ロジャース	○わいわいコ ンサート 大人 1,000 円 子ども 400 円 親子ペア 1,200 円 ○アフタヌ ーンコンサ ート 大人 1,200 円 子ども 500 円 親子ペア 1,500 円 ○セット料金 大人 1,600 円 子ども 700 円 親子ペア 2,000 円	○わいわい コンサート 171 人 (174 枚)  ○アフタヌ ーンコンサ ート 127 人 (166 枚)  内セット販 売枚数 26 枚

月/日	公演名	出演者名	内 容	料 金	入場者数 (販売数)
10/14 (日)	小山実稚恵 ピアノリサイタル	小山実稚恵	「即興曲変イ長調作品 142-2」「即興 曲変ロ長調作品 142-3」「即興曲変ト 長調作品 90-3」「即興曲変ホ長調作 品 90-2」シューベルト/「シャコン ヌ」J・S・バッハ/「ノクターン 第 20 番嬰ハ短調」「ワルツ第 7 番嬰 ハ短調作品 64-2」「子犬のワルツ」 「アンダンテスピナートと華麗 なる大ポロネーズ」「ラルゲット」 「英雄」ショパン アンコール 3 曲	一 般 2,500 円 高校生以下 1,000 円	262 人 (269 枚)
12/9 (日)	石坂団十郎&小菅 優デュオリサイタル	石坂団十郎 チェロ 小菅優 ピアノ	オール・ベートーヴェンプログラム 「魔笛から恋を知る男たちはの主 題による 7 つの変奏曲変ホ長調」「ホ ルンとピアノのためのソナタへ長 調」「チェロ・ソナタ第 3 番イ長調」	一 般 3,000 円 高校生以下 1,000 円	216 人 (229 枚)
1/14 (月)	まほらフェスティ バルオーケストラ ニューイヤーコン サート 2019inま ほら	指揮白河和 治 メンバー 三浦章宏ほ か 44 名	「歌劇オベロン序曲」ウェーバー/ 「ヴァイオリン協奏曲第 1 番ト短調 作品 26」ブルッフ/「ワルツ春の声 作品 410」「ポルカ雷鳴と電光作品 324」「ワルツ皇帝円舞曲作品 437」 ヨハン・シュトラウス 2 世/「喜歌 劇軽騎兵序曲」スッペ/「交響詩中 央アジアの草原にて」ボロディン/ 「歌劇ウィリアム。テル序曲」ロッ シーニ/「喜歌劇天国と地獄序曲」 オッフエンバック/「ワルツ美しき 青きドナウ」ヨハン・シュトラウス 2 世	一 般 5,000 円 高校生以下 2,000 円 特別割引有	227 人 (232 枚)



## 11. 三春交流館「まほら」、地区交流館利用状況

### (1) 三春交流館「まほら」利用状況

施設区分	利用	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
まほらホール	回数(回)	7	3	8	10	6	17	9
	人数(人)	1,318	820	1,482	958	4,320	3,615	1,777
舞台のみ	回数(回)	4	2	3	2	4	10	8
	人数(人)	112	82	127	57	101	223	998
客席のみ	回数(回)				2			
	人数(人)				370			
ホワイエのみ	回数(回)	14		19	10	9	1	15
	人数(人)	1,109		539	1,348	231	80	3,045
交流広場	回数(回)		1	1	1	2	1	1
	人数(人)		230	210	180	282	24	280
小ホール	回数(回)	42	44	47	47	41	50	42
	人数(人)	1,005	915	937	1,012	700	1,037	1,269
楽屋A	回数(回)	25	22	17	19	18	15	18
	人数(人)	205	173	144	146	303	122	143
楽屋B	回数(回)	18	12	18	21	10	14	18
	人数(人)	140	83	136	175	74	110	154
学習室C	回数(回)	26	19	26	26	27	19	26
	人数(人)	294	197	313	291	360	256	303
学習室D	回数(回)	15	10	19	13	14	19	13
	人数(人)	167	90	196	118	136	162	114
和室E(大)	回数(回)	23	29	34	24	20	29	25
	人数(人)	217	286	379	258	222	273	289
和室F(小)	回数(回)	5	6	5	6	5	7	4
	人数(人)	106	99	87	104	97	120	90
計	回数(回)	179	148	197	181	156	182	179
	人数(人)	4,673	2,975	4,550	5,017	6,826	6,022	8,462

### (2) 地区交流館利用状況

交流館名	利用	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
沢石会館	回数(回)	18	13	14	31	22	13	11
	人数(人)	445	219	307	390	663	602	389
要田地区交流館	回数(回)	18	14	14	11	9	10	12
	人数(人)	288	232	292	194	112	284	202
御木沢地区公民館	回数(回)	15	7	10	9	10	6	9
	人数(人)	214	89	184	107	161	90	126
岩江センター	回数(回)	44	47	43	35	29	43	61
	人数(人)	1,595	1,772	1,696	1,428	1,165	1,595	3,372
中妻地区公民館	回数(回)	28	30	33	31	25	29	31
	人数(人)	633	743	846	702	523	674	882
中郷地区交流館	回数(回)	23	30	38	28	3	25	32
	人数(人)	458	806	1,189	697	565	559	664
計	回数(回)	146	141	152	145	98	126	156
	人数(人)	3,633	3,861	4,514	3,518	3,189	3,804	5,635

11月	12月	1月	2月	3月	H30年度 (4~3月) 計 a	H29年度 (4~3月) 計 b	比較	
							c = a - b	%
16	10	8		12	106	129	△ 23	△ 17.8
2,559	1,870	945		3,977	23,641	38,407	△ 14,766	△ 38.4
6	6	2		1	48	54	△ 6	△ 11.1
94	104	9		18	1,925	1,587	338	21.3
					2	0	2	0.0
					370	0	370	0.0
12		1	4	7	92	84	8	9.5
1,107		5,000	294	541	13,294	20,665	△ 7,371	△ 35.7
1	1				9	9	0	0.0
280	420				1,906	1,780	126	7.1
34	38	30	41	49	505	511	△ 6	△ 1.2
695	785	475	701	1,026	10,557	9,890	667	6.7
18	16	13	24	25	230	240	△ 10	△ 4.2
196	175	103	259	214	2,183	2,128	55	2.6
12	10	15	24	16	188	186	2	1.1
82	87	122	222	140	1,525	1,516	9	0.6
16	23	23	25	32	288	319	△ 31	△ 9.7
179	284	225	300	375	3,377	3,959	△ 582	△ 14.7
14	15	13	17	13	175	174	1	0.6
113	133	134	121	95	1,579	1,517	62	4.1
23	21	24	30	33	315	349	△ 34	△ 9.7
220	194	225	294	280	3,137	3,725	△ 588	△ 15.8
5	3	2	5	4	57	59	△ 2	△ 3.4
101	56	63	141	106	1,170	1,040	130	12.5
157	143	131	170	192	2,015	2,114	△ 99	△ 4.7
5,626	4,108	7,301	2,332	6,772	64,664	86,214	△ 21,550	△ 25.0

11月	12月	1月	2月	3月	H30年度 (4~3月) 計 a	H29年度 (4~3月) 計 b	比較	
							c = a - b	%
29	26	25	37	42	281	247	34	13.8
1,128	1,027	781	1,012	1,210	8,173	5,774	2,399	41.5
8	5	6	9	19	135	144	△ 9	△ 6.3
87	104	167	150	325	2,437	2,369	68	2.9
12	7	7	7	8	107	101	6	5.9
715	82	91	63	73	1,995	2,025	△ 30	△ 1.5
38	38	35	42	52	507	657	△ 150	△ 22.8
1,486	1,365	1,139	1,460	1,391	19,464	18,458	1,006	5.5
30	28	27	28	29	349	337	12	3.6
698	628	599	683	594	8,205	8,086	119	1.5
28	28	29	28	35	327	337	△ 10	△ 3.0
497	485	609	526	735	7,790	8,135	△ 345	△ 4.2
145	132	129	142	166	1,706	1,823	△ 117	△ 6.4
4,611	3,691	3,386	3,744	4,003	48,064	44,847	3,217	7.2

資料 平成30年度三春交流館「まほら」稼働状況

会場	4月～6月				7月から9月				10月から12月				1月から3月				年間			
	開館日	利用団体数	稼働率		開館日	利用団体数	稼働率		開館日	利用団体数	稼働率		開館日	利用団体数	稼働率		開館日	利用団体数	稼働率	
まほらホール	78	午前	17	21.8%	82	午前	38	61.7%	76	午前	34	46.1%	76	午前	17	32.4%	312	午前	106	34.0%
		午後	25	32.1%		午後	51	65.4%		午後	50	68.4%		午後	21	47.1%		午後	147	47.1%
		夜間	13	16.7%		夜間	20	29.6%		夜間	28	32.9%		夜間	7	14.7%		夜間	68	21.8%
	29	土・日・祝	34	117.2%	30	土・日・祝	56	186.7%	27	土・日・祝	61	225.9%	29	土・日・祝	31	106.9%	115	土・日・祝	182	158.3%
ホワイエ	83	午前	53	63.9%	82	午前	43	56.8%	76	午前	44	56.6%	76	午前	25	35.5%	317	午前	165	52.1%
		午後	57	68.7%		午後	55	60.5%		午後	51	67.1%		午後	31	44.7%		午後	194	61.2%
		夜間	33	39.8%		夜間	30	27.2%		夜間	23	11.8%		夜間	16	15.8%		夜間	102	32.2%
小ホール	78	午前	54	69.2%	82	午前	60	69.1%	76	午前	59	78.9%	76	午前	50	64.5%	312	午前	223	71.5%
		午後	74	94.9%		午後	80	87.7%		午後	73	105.3%		午後	68	97.4%		午後	295	94.6%
		夜間	60	76.9%		夜間	66	66.7%		夜間	56	64.5%		夜間	53	61.8%		夜間	235	75.3%
1階会議室(2部屋)	156	午前	56	35.9%	164	午前	73	44.5%	152	午前	72	47.4%	152	午前	55	36.2%	624	午前	256	41.0%
		午後	83	53.2%		午後	100	61.0%		午後	99	65.1%		午後	87	57.2%		午後	369	59.1%
		夜間	67	42.9%		夜間	70	42.7%		夜間	79	52.0%		夜間	82	53.9%		夜間	298	47.8%
2階会議室(4部屋)	312	午前	110	35.3%	328	午前	109	33.2%	304	午前	130	42.8%	304	午前	114	37.5%	1248	午前	463	37.1%
		午後	181	58.0%		午後	159	48.5%		午後	197	64.8%		午後	214	70.4%		午後	751	60.2%
		夜間	127	40.7%		夜間	148	45.1%		夜間	140	46.1%		夜間	122	40.1%		夜間	537	43.0%

## 社会体育グループ

### 平成30年度重点施策の進捗状況

#### 目標3 豊かな心と文化を育むまちづくり

##### 1 スポーツ活動の企画及び機会の確保に関する取り組み

町民がスポーツに親しむ機会を増進するため、町民ソフトボール・家庭バレーボール大会、町民トレッキング教室、町民スキー教室を実施するとともに、第21回さくら湖マラソン大会、うつくしま・みずウオーク2018を開催した。

さらに、町選手団を編成し、第30回ふくしま駅伝、第12回市町村対抗軟式野球大会、第5回市町村対抗ソフトボール大会に参加し、ふくしま駅伝は町の部4位・総合11位の成績を収めた。

また、学校体育施設開放事業により地域のスポーツ活動・交流の場を確保するとともに、町体育協会・町スポーツ少年団への支援を行った。

##### 2 体育施設整備に関する取り組み

旧三春中学校体育館を社会体育施設に移行するため、必要な改修工事を施工し、平成30年11月1日に三春町民第2体育館を開設した。

#### 1 運営方針

- (1) スポーツを通して心身ともに健康な町民の育成を図る。
- (2) 町民のスポーツ振興・拡充の推進を図る。
- (3) 町民が広くスポーツに親しめる環境の充実に図る。

#### 2 職員組織

主幹1人、主事2人、臨時職員1人

#### 3 平成30年度事務事業

##### (1) 体育施設利用状況

施設名	年間利用人数(人)	備考
① 三春町民体育館	38,065	
② 三春町民第2体育館	3,010	平成30年11月1日開設
③ 三春町営運動場	10,697	
④ 三春町営野球場	6,820	
⑤ 三春町営テニスコート	14,804	
⑥ 三春町営貝山プール	1,202	
⑦ 三春町運動公園談話室	1,809	
⑧ 三春町営ボート場	581	
合計	76,988	歳入 体育施設使用料 1,891,710円

(2) 町民のスポーツ振興のためのスポーツ推進委員の活動

① スポーツ推進委員名簿 (任期:平成 29 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

三瓶 清友	飛田 直	柳沼 孝則	榎本 文恵
渡邊 清平	渡辺 昭好	佐藤 久	戸松 嘉明
佐久間 伊一	橋本 由香里	近内 正一	過足 奈美

② スポーツ推進委員活動

委員名	時 期	内 容
三春町 スポー ツ推 進 委員	5 月 19 日	第 1 回三春町スポーツ推進委員会議
	5 月 29 日	田村地方スポーツ推進委員連絡協議会監査会・役員会・総会
	6 月 10 日	第 21 回さくら湖マラソン大会協力
	8 月 26 日	町民トレッキング教室
	9 月 2 日	第 41 回町民ソフトボール・家庭バレーボール大会協力
	9 月 22 日	うつくしま・みずウオーク 2018 三春大会協力
	10 月 19 日	第 2 回三春町スポーツ推進委員会議
	11 月 18 日	第 30 回ふくしま駅伝大会協力
	1 月 26 日	第 3 回三春町スポーツ推進委員会議
	3 月 2 日	田村地方スポーツ推進委員体育・レクリエーション講習会
合計出席人数	委員報酬 22 人 127,600 円 委員報償 46 人 138,000 円	

(3) 社会体育団体の育成及び支援

団体名	団体数	加入者 (人)	内 容
三春町体育協会	13	1,194	各協会単位で各種大会を開催し、事業を展開。 町実施事業への後援・参加協力。 町補助金 220,000 円 町交付金 780,000 円
三春町スポーツ少年団	15	351	国・県スポーツ少年団に登録し、各単位団で各種大会を開催し、それぞれに健全育成を図る。 町補助金 421,000 円 町交付金 1,500,000 円

(4) 各種スポーツ大会等

事業名	人数等	時期	内 容	場所・主催者・決算額
第 21 回さくら湖マラソン大会	1,372 人	6 月 10 日	全 18 部門で開催	中郷学校及び三春ダム周辺 主催：さくら湖マラソン大会実行委員会 町交付金 2,100,000 円

事業名	人数等	時期	内 容	場所・主催者等・決算額
第71回県総合体育大会県中地域大会田村地方予選大会	4チーム 出場	7月8日	三春町出場チーム結果 壮年ソフト：3位 ソフトテニス：優勝 バドミントン：3位 家庭バレーボール：優勝	壮年ソフト：小野町 ソフトテニス：三春町 バドミントン：田村市 家庭バレーボール：田村市 主催：田村地方体育協会 連絡協議会
町営プール開放	1,202名	7月21日 ～ 8月26日	夏季休業中開放 887名 小学校水泳交歓会 315名	町営貝山プール プール監視等委託料 4,320,000円
第71回県総合体育大会県中地域大会	2チーム 出場	8月26日	三春町出場チーム結果 ソフトテニス： 決勝トーナメント敗退 家庭バレーボール：3位	ソフトテニス：牡丹台庭 球場 家庭バレーボール：須賀 川アリーナ 主催：福島県体育協会 出場町報償 30,000円
三春町民トレッキング教室	25名	8月26日		茶臼岳（栃木県）
第41回町民ソフトボール・家庭バレーボール大会	各 13チーム 432名	9月2日	ソフトボール 家庭バレーボール	ソフトボール 優勝：八幡町 準優勝：御木沢 家庭バレーボール 優勝：荒町 準優勝：八幡町
第12回市町村対抗福島県軟式野球大会	30名	9月16日	1回戦：伊達市 2-7（敗退）	主催：福島民報社 県下59チーム参加 出場町報償 150,000円
うつくしま・みずウオーク2018三春大会	1,300名	9月22日	7km・10km・18km まなぶん3kmコース	さくら湖周辺 主催：福島民友新聞社 町交付金 800,000円
第5回市町村対抗福島県ソフトボール大会	30名	10月14日	1回戦：桑折町 2-3（敗退）	主催：福島民報社 県下55チーム参加 出場町報償 150,000円
第30回ふくしま駅伝	27名	11月18日	町の部4位 総合11位	白河～福島（16区間、 95.0km） 主催：福島民報社 町交付金 1,700,000円
三春町民スキー教室	22名 24名	1月20日 2月17日	町内在住・在学者、スポーツ少年団団員対象	沼尻スキー場（猪苗代町） 講師町報償 87,000円
全国高校選抜柔道錬成三春大会	24校 450名	2月9日 ～11日	高校柔道のレベルアップ	三春町民体育館 主催：全国高校選抜柔道 錬成三春大会実行委員会 町交付金 800,000円

## (5) 社会体育施設の補修・修繕整備

工事（業務）名	請負金額	工期	内容	請負者
旧三春中学校体育館改修工事	27,179,280円 (歳入一般単独債 20,300,000円)	H30.5.24 ～ H30.10.31	照明LED化・パッケージ消火栓設置・建具改修・給排水管工事	(株)渡伝組
三春町営運動場太陽電池式電波時計設置工事	129,600円	H30.12.13 ～ H31.1.18	屋外時計設置工事	(有)光和電気
三春町民第2体育館テレビ共聴設備配線工事	54,000円	H31.1.4 ～ H31.1.18	テレビアンテナ設置・配線工事	(有)光和電気
三春町民第2体育館量水器口径交換工事	94,770円	H31.3.27 ～ H31.3.30	水道量水器口径交換工事	(有)本田ポンプ店
施設等応急修繕 (13件)	1,039,576円	年間随時	各施設等修繕対応	(有)柳沼設備外

## (6) 社会体育施設の管理運営

事業・業務委託等	時期	内容	場所	委託等内容
町民体育館清掃及び管理業務委託	通年	体育館清掃、運動公園草刈及び夜間施設管理業務	町民体育館、町民第2体育館、運動公園内	(公社)三春町シルバー人材センター 3,326,000円
運動公園等草刈業務委託	7～9月	雑草刈払い	運動公園内、町営ポート場敷地内	(公社)三春町シルバー人材センター 471,420円
学校体育施設開放事業	通年	町内小中学校(8校)、閉校中学校(2施設)の体育館及びグラウンドを各登録団体に開放	体育館及びグラウンド	管理員報償 8人 480,000円
閉校中学校施設管理	通年	閉校した中学校施設の管理	旧三春中学校 旧要田中学校施設	旧要田中学校施設 葛尾村立小中学校行政財産使用許可 H30.4～6貸付実費収入 141,140円

## 平成30年度重点施策の実施状況

### 豊かな心と文化を育むまちづくりに関する取り組み

#### 1 国指定天然記念物・三春滝ザクラを保護・保存する。

滝ザクラ周囲の草刈りや施肥等を地元の滝桜保存会に委託し、病虫害の発生や雪害に対する巡視等を造園業者に委託して通年管理を実施した。また、文化庁の許可と補助を受けて、支柱の交換・新設、枯枝の切除等を目的に樹冠全体に足場を設けて天然記念物再生事業を実施した。

#### 2 文化財等を保護し、伝統文化の継承を支援する。

- ① 震災で被災した古四王堂(真照寺)の復興再建事業を支援し、補助金を交付した。また、三春城址の案内のため、本丸跡に解説板等を新設した。
- ② 開発に先立ち2つの遺跡で試掘調査を行い、事業との調整を図った。
- ③ 民俗芸能等を継承保存する15団体に、交付金による支援を行った。

#### 3 歴史民俗資料館等の施設を適切に管理・運営する。

- ① 利用者の便を図るため歴史民俗資料館入口ドアを自動化するとともに、老朽化した水道の漏水箇所を調査・修繕し、敷地内の危険木を伐採した。
- ② 郷土人形館と文化伝承館を生涯学習支援ボランティアの会に管理を委託した。

#### 4 企画展等を開催するとともに、資料を整理・保存し、活用を図る。

- ① 愛姫生誕450年の特別展や戊辰・明治150年の企画展等を開催した。
- ② 新たな資料を収集するとともに、その整理を行い、貸出し、閲覧等に供した。
- ③ 展示解説や講座を開催するとともに、出前講座や講師等の派遣依頼に対応した。

### 1 運営方針

- (1) 先人たちが築き、育て上げてきた三春の歴史・文化を継承して、未来へ引き継いでいく。
- (2) 町内外に在する三春に関わる資料を調査・収集し、重要なものを保護・保管する。
- (3) 収蔵資料や文化財等を、学校教育や生涯学習を活用し、観光の振興にも供する。

### 2 職員組織

総括主幹兼館長1人 主幹兼副館長1人 主任主査兼学芸員1人 臨時職員3人

### 3 文化財保護事業

#### (1) 文化財保護審議会(委員5名)

会議等名	時期	場所等	内容等
第1回会議	6月27日	資料館研修室	・平成29年度文化財保護事業報告について ・平成30年度文化財保護事業計画について ・文化財保護法改正に伴う今後の三春町の文化財保護について
文化財防火査察	1月27日	中郷地区	白山比咩神社(貝山)、王子神社(蛇石)での文化財防火査察に協力した。
第2回会議	1月27日	資料館研修室	・平成30年度文化財保護事業報告について ・平成31年度文化財保護事業計画について (滝ザクラ天然記念物再生事業現地視察)
視察研修	3月17日	岩手県一関市	一関市(一関市博物館、せんまや街角資料館、千厩酒のくら交流施設、祥雲寺等)での歴史・文化保存公開状況を視察研修

#### (2) 滝ザクラの保護保存事業

事業名	時期	内容等
経常的管理	随時	経常的な巡視のほかに、特に大雨、強風、積雪時の巡視



事業名	時期	内容等
管理施肥業務委託	通年	地元の滝桜保存会に、年4回程度の草刈りと堆肥作成・施肥(12月23日実施)、巡視・通報を委託
雪害・病虫害予防巡回及び除雪作業委託	通年	造園業者に、月1回の病虫害発生状況の確認と積雪時の巡視、着雪時の雪下ろし作業を委託。30年度は巡視を10回実施。
中郷小学校「滝桜を守る会」	6月22日	中郷小学校全校生徒による滝ザクラの種子採取作業の指導・協力
天然記念物再生事業	11月16日 ～ 3月15日	文化庁及び樹木医(県文化財保護審議会委員)の指導の元、国庫補助金を受けて、造園業者に工事を委託。 ・支柱3本の新設と11本の交換、支柱と枝の結束材すべてを交換 ・枯枝の切除、病虫害の駆除 ・事業概要紹介パンフレット(1,500部)作成、配布 ・一般向け現地説明会・見学会を開催(2月17日) ・中郷小学校3～5年生、滝地区住民向け現地説明会を開催

### (3) 指定文化財等の保存・管理事業

事業名	時期	内容等
指定文化財の管理	通年	主に屋外に所在する文化財を中心に随時巡視
古四王堂再建事業	6月6日 ～ 2月28日	真照寺古四王堂の震災復興再建事業(事業費15,544千円)を支援し、3,600千円を補助(ほかに公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団より1,700千円の助成あり)
三春城跡解説板等設置	通年	三春城本丸跡に解説板を新設し、案内パンフレット配架台を設置(年間のパンフレット配架数は2,250部)
文化財防火デー防火査察	1月27日	文化財防火デーに関連して、田村消防署、三春町消防団と白山比咩神社(貝山)、王子神社(蛇石)を各管理者の立会いで防火査察を実施。

### (4) 埋蔵文化財保護事業

事業名	時期	内容等
埋蔵文化財包蔵地確認業務	通年	工事や土地取引に際して、77件98地点の照会に回答(このうち4箇所が遺跡、4箇所が隣接地に該当し、現況を確認し計画変更等を経て、2箇所を試掘調査を実施)
川平遺跡(込木)試掘調査	6月4日 ～6日	民間の太陽光発電計画。対象面積1,626㎡で2×10mの試掘坑8条(160㎡)を発掘し、縄文土器片が出土。遺跡への影響が少ない工法により、工事立会を予定。
彦治郎遺跡(富沢)試掘調査	3月12日 ～13日	太陽光発電計画。対象面積625㎡で幅2m、長さ25m、15m、10mの試掘坑3条(100㎡)を発掘し、遺構・遺物とも確認されず。

### (5) 文化財保護保存団体育成事業(団体の育成、文化財の継承を目的に、各団体に2万円を交付)

団体名	地区	対象文化財等
垢潜奉新会	富沢	町文化財・垢潜三匹獅子舞(火雷、天日鷲神社)
田村大元神社三匹獅子舞保存会	新町	町文化財・田村大元神社の三匹獅子舞
高木神社三匹獅子舞保存会	実沢	町文化財・高木神社の三匹獅子舞
樋渡三匹獅子舞保存会	樋渡	町文化財・樋渡の三匹獅子舞(樋渡神社)
荒獅子保存会	荒町	町文化財・八雲神社の長獅子舞
田村大元神社別火講中	新町	町文化財・田村大元神社の長獅子舞
八幡町若連	八幡町	町文化財・八幡神社の長獅子舞
斎藤太々神楽保存会	斎藤	町文化財・斎藤の太々神楽(見渡神社)
上舞木御神楽講保存会	上舞木	町文化財・直毘神社の太々神楽
巖島神社榊講社	御祭	巖島神社の太々神楽
三輪神社神楽保存会	庄司	笹山神社の太々神楽
大町太鼓保存会	大町	町文化財・伝統三春盆踊りや祭囃子

団体名	地区	対象文化財等
中町若連会	中町	町文化財・伝統三春盆踊りや祭囃子
西方若連会	西方	町文化財・西方の水かけ祭(塩釜神社)
中妻文化財を守る会	中妻	地区内の文化財

## 5 資料館等管理運営事業

### (1) 歴史民俗資料館運営協議会(委員7名)

会議等名	時期	場所等	内容等
第1回会議	6月2日	資料館研修室	・平成29年度事業報告について ・平成30年度事業計画について
視察研修	9月20日	群馬県内	史跡足利学校及び群馬県立歴史博物館の運営・管理状況を視察
第2回会議	2月3日	資料館研修室	・平成30年度事業報告について ・平成31年度事業計画について

### (2) 施設管理・運営(資料館、人形館、伝承館)

施設名	時期	内容等
歴史民俗資料館	通年	・周辺環境管理業務委託(草刈・館外清掃等) ・自家用電気工作物保安管理業務委託 ・浄化槽清掃保守点検管理業務委託 ・空調機保守点検業務委託
	5/24~8/31	敷地内危険木伐採処分業務委託(敷地内の危険木2本の伐採処分)
	5/31~8/31	給水配管漏水調査業務委託(漏水箇所を確認し修繕)
	9/10~9/14	燻蒸等業務委託(ほかに残留薬剤散布を6月29日実施)
	1/31~3/31	企画展示室展示台工事(展示台31台の製作)
	10/4~12/28	資料館入口自動ドア工事(NPO法人日本自動ドア産業振興会からの自動ドア装置寄付を受けて、一部付帯工事を町が実施)
歴史民俗資料館・郷土人形館	通年	・消防設備保守点検業務委託 ・機械警備業務委託
	3月18日	臨時清掃業務委託
郷土人形館	通年	・管理業務委託(生涯学習支援ボランティアの会) ・一般用電気工作物保安管理業務委託
文化伝承館	通年	管理業務委託(生涯学習支援ボランティアの会)
	土日祝日等	管理業務委託(三春町シルバー人材センター)

### (3) 友の会活動支援(会員数141名)

事業名	時期	内容等	参加者数
学習会	通年8回	展示解説3回、館外研修(大安場史跡公園)、土器製作・野焼き体験、吊るし雛作り体験、茶話会	のべ128人
町外研修	10月20日・24日	北茨城市(野口雨情生家、六角堂、五浦美術館を見学研修)	49人
グループ活動	通年	・三春の町並みを語る会(計8回)	延べ31人
		・わらざうりをつくる会(計6回)	延べ33人
		・方言を学ぶ会(計6回)	延べ42人
		・縄文土器を作る会(計20回)	延べ77人
		・つるし飾りを作る会(計20回)	延べ200人

## 6 展示・学芸事業

### (1) 歴史民俗資料館・自由民権記念館常設展・企画展・特別展(年間入館者8,268人、入館料1,694,210円)

展示名	期間	内容等	入館者数
春季特別展 「陽徳院 愛姫」	4月7日～ 5月13日	愛姫の生誕450年を記念して、松島・瑞巖寺の陽徳院木像や宇和島伊達家に伝わる琵琶等を借用して特別展を開催。福島県地域創生総合支援事業補助金を利用した。	2,715人
夏季企画展 「縄文の美～忘れられた造形」	7月7日～ 8月26日	三春ダム竣工から20年を記念し、建設工事関連の調査で出土した縄文時代の土器や土偶を展示した。福島県文化財センター白河館所蔵のハート形土偶を借用展示。	1,125人
秋季企画展「戊辰・明治150年 三春藩の選択」	10月20日 ～ 12月2日	戊辰戦争から150年を記念し、幕末から三春城の無血開城までの三春藩の動向を改めて振り返る展示を開催。	1,489人
ミニ展示「亥」	12月15日 ～1月27日	干支の亥に関わる郷土玩具類を1つの展示ケースで展示。	303人
常設展「きのうの三春・はるかな三春」	通年	三春の歴史文化について、縄文時代から明治維新までの歴史資料と、城下町・周辺農村の民俗資料で紹介する展示。	※2,636人
自由民権記念館(常設展)	通年	明治時代の自由民権運動について、三春出身の自由民権運動家を顕彰する展示。	

※企画展等開催期間以外の入館者数

(2)郷土人形館常設展・企画展(年間入館者2,559人)

展示名	期間	内容等	入館者数
人形館のひな祭り	2月1日～ 3月31日	友の会つるし飾りを作る会が制作したつるし飾りを館内に展示。	371人
常設展	通年	昭和初期に東北地方各地の郷土玩具を収集した「らっこコレクション」を2棟の土蔵内で展示。	※2,188人

※企画展等開催期間以外の入館者数

(3)文化伝承館常設展・企画展(年間入館者2,142人)

展示名	期間	内容等	入館者数
文化伝承館のひな祭り	3月1日～ 31日	生涯学習支援ボランティアの会が制作したつるし飾りを館内に展示。	152人
常設展	通年	明治時代の生糸商・吉田氏の住宅と離れ「紫雲閣」を公開。但し紫雲閣は壁面の崩落等により、7月12日以降公開中止。	※1,990人

※企画展等開催期間以外の入館者数

(4)資料の収集・管理・整理事業

事業名	内容等
資料の収集	新規寄贈4件、新規寄託6件
収蔵資料の管理	寄託更新事務(15件を寄託更新、5件を寄贈へ移行)、収蔵資料の一元管理のための整理作業(寄託資料1万点、館蔵資料6万点以上)
収蔵資料の貸出し	収蔵資料6件55点を、高知県立高知城歴史博物館、高知県立坂本龍馬記念館、白河集古苑、福島県立博物館、東山旧岸邸、西田記念館へ貸出し
写真の貸出し・掲載	出版社、博物館等12件
資料の閲覧・撮影	研究者、博物館等7件
収蔵資料の整理	川又家文書を福島大学の協力を得て整理するほか、新収蔵資料を中心に目録等作成。

(5)各種講座の開催

事業名	時期	内容
館主催講座	随時(5件)	特別展・企画展に関連した歴史・体験・散策講座を開催
依頼(出前)講座	随時(16件)	町内高齢者学級、地域団体、企業、商工会等の依頼による歴史講話等
展示解説	随時(33件)	各種団体の依頼等により常設展・企画展等を展示解説
町内中学校学習支援	随時(19件)	町内小中学校、高校等の教育課程により、常設展・企画展等を展示解説
講師等派遣依頼	随時(7件)	茨城県雪村顕彰会、大安場史跡公園、県立博物館、二本松市教育委員会、二本松歴史研究会、船引地方史研究会からの講師派遣依頼、田村青年会議所からの審査員依頼

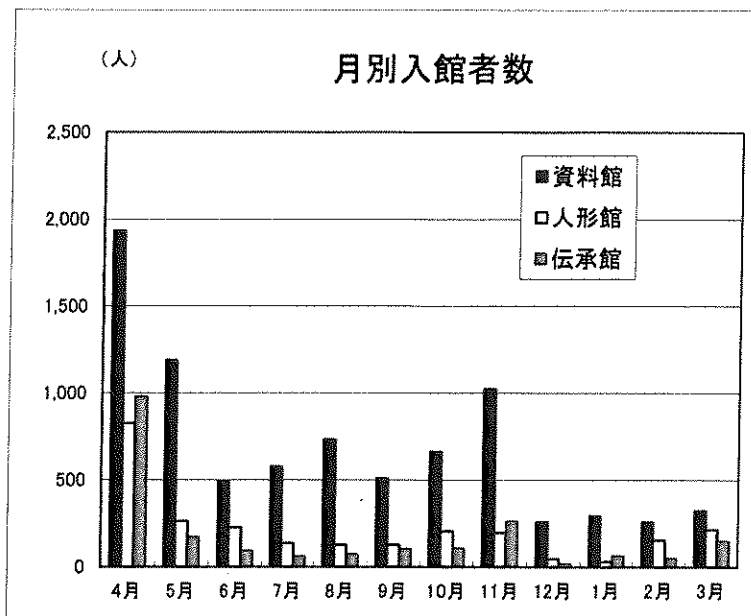
平成30年度 施設利用状況報告

◎月別入館者数

(単位:人)

	資料館	人形館	伝承館	計
4月	1,933	825	981	3,739
5月	1,190	264	172	1,626
6月	494	227	93	814
7月	578	136	61	775
8月	733	128	74	935
9月	511	126	105	742
10月	664	206	109	979
11月	1,025	198	263	1,486
12月	260	47	19	326
1月	296	31	63	390
2月	260	156	50	466
3月	324	215	152	691
計	8,268	2,559	2,142	12,969

※人形館は試験的に入館料無料(2年目)

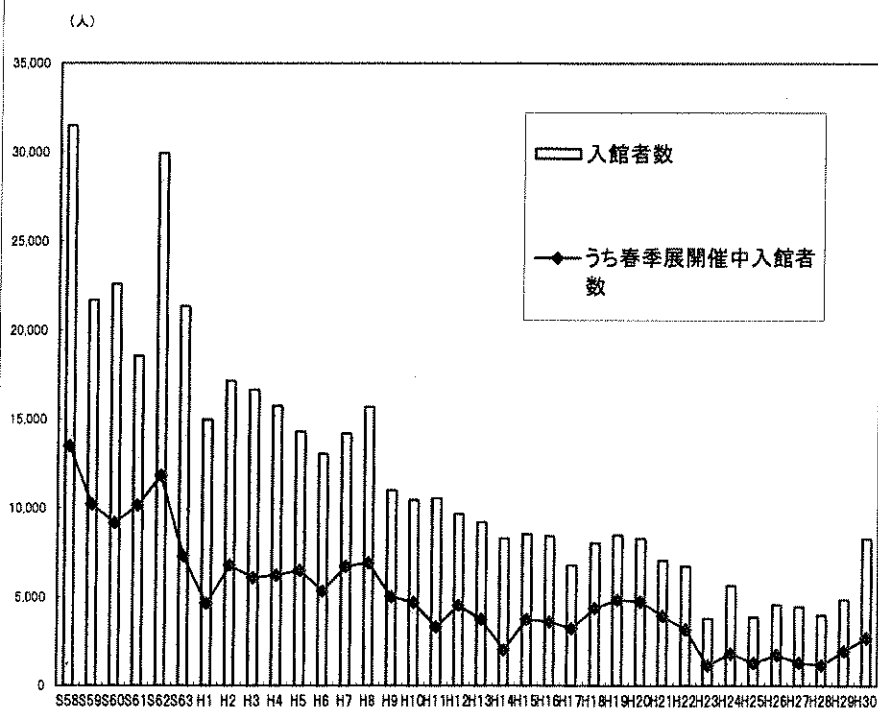


◎資料館年度別入館者数

(単位:人)

	入館者数	うち春季展開催中入館者	春季展テーマ
S58	31,515	13,515	雪村
S59	21,696	10,241	みちのくの古人形
S60	22,596	9,202	安東・秋田氏展
S61	18,544	10,179	三春の自由民権運動
S62	29,947	11,868	三春田村氏と伊達政宗
S63	21,358	7,344	松下氏三春への道
H1	14,972	4,677	縄文の石と折り
H2	17,158	6,824	三春藩
H3	16,647	6,116	三春真照寺
H4	15,746	6,260	三春高乾院
H5	14,307	6,526	三春福聚寺
H6	13,051	5,361	三春法蔵寺
H7	14,195	6,760	女性の粧い
H8	15,709	6,949	三春の浄土宗
H9	10,996	5,047	大滝根川流域の遺跡
H10	10,462	4,718	三春城と城下町
H11	10,553	3,345	近代三春の夜明け
H12	9,680	4,568	文六焼
H13	9,207	3,771	三春人形と木型
H14	8,288	2,061	演劇で見る自由民権運動
H15	8,535	3,764	三春藩主秋田氏
H16	8,433	3,641	三春城と仙道の城
H17	6,787	3,250	春陽の士
H18	8,035	4,397	田村大元神社
H19	8,489	4,870	さくら咲く
H20	8,286	4,765	春が来た
H21	7,059	3,970	花咲く里
H22	6,736	3,210	三春人形が結ぶ絆
H23	3,787	1,189	家を継ぐ
H24	5,644	1,846	愛姫と三春の姫君
H25	3,871	1,313	藩校から学校へ
H26	4,561	1,769	三春の春彩々
H27	4,445	1,326	手わざと三春
H28	3,975	1,183	大戦と大戦
H29	4,850	1,976	大高正人
H30	8,268	2,715	愛姫
累計	428,388	180,516	

年度別入館者数推移



累計入館者数

10万人  
20万人  
30万人  
40万人

昭和62年度(1987) 開館5年目  
平成4年度(1992) 開館11年目  
平成12年度(2000) 開館18年目  
平成25年度(2013) 開館31年目

## 三春町民図書館

### 平成30年度重点事業施策の進捗状況

1. みんなが本に親しみ、日常生活に役立つ図書館をめざす。
  - ・広報みはる、図書館ホームページ及び図書館窓口、関係機関へのチラシ配布などで、新着本の紹介や図書館行事の周知に努め、読書推進活動を行った。
  - ・図書館内外で、毎月展示テーマを設定し、おすすめ資料の展示を実施し、多様な資料を紹介した。
2. 利用者の要望を把握し、図書館業務に反映させていく。
  - ・新たにインターネット予約を開始し、利便性を高め、リクエストや予約を通じて迅速かつ効率的な資料整備に努めた。
3. 三春の歴史と文化を継承し、豊かな社会づくり、人づくりを支援する。
  - ・三春町に関する新聞記事のクリッピングを行い、町職員へ検索表を周知するほか、町関連記事の整備保管に努めた。
  - ・郷土資料の収集に努め、地域に関する調べ物相談を随時行った。
  - ・ボランティアの協力をいただき、朗読講習会ほか各種おはなし会を実施した。
4. 各地域へのサービス体系を整備する。
  - ・地区交流館図書室を定期的に巡回し、図書整理等に努めた。
5. 学校との連携を図り、学習の支援を行っていく。
  - ・各教育施設や保育施設等を巡回し、図書館資料の配本と回収を行った。
  - ・随時、小学校などへの団体貸出を実施した。
6. 新三春町民図書館整備基本計画に基づき、新館運営に向けた準備を進める。
  - ・昨年策定した「新三春町民図書館整備基本計画」に基づき、古い資料の除籍・廃棄を計画的に進め、有用資料の更新・追加を定期的に行った。

## 2 図書館組織

### (1) 職員

兼任館長1人 主任主査1人 主査1人 主事1人 臨時職員2人(内司書4名)

・図書館業務にかかる職員研修、会議

月/日	曜日	場所	研修名等	参加者数等
6/8	金	福島県立図書館	福島県公共図書館実務担当者会議	職員1名
6/14 ~15	木・ 金	秋田市文化会館	北日本図書館大会秋田大会	職員1名
7/12	木	郡山市役所	郡山連携中枢都市圏連携推進協議会 第2回ワーキング	職員1名
8/1	水	小野町ふるさと文化 の館	Let's理科読(読書活動推進事業の見 学)	職員1名
9/21	金	郡山市労働福祉会館	読書活動支援者育成事業(研修B)	職員1名・ボランティア 3名
10/4	木	福島県立図書館	福島県図書館研究集会	職員1名
11/4	日	福島県立図書館	子どもの本がつなぐスマイルプロジェクト	職員1名
11/11	日	福島県立図書館	英語と日本語で語る フランさんと 浩子さんのおはなし会	職員1名・ボランティア 2名
11/16	金	福島県立図書館	福島県図書館職員等専門研修会	職員1名
2/18	月	須賀川市中央図書館	町民図書館職員視察研修	館長・職員
2/19	火	郡山市立中央図書館	こおりやま広域圏中枢都市圏連携推 進協議会 第4回ワーキング	職員1名
3/14	木	棚倉町立図書館	県中・県南地区公共図書館等協力事 業連絡会	職員1名

## (2) 三春町民図書館協議会

三春町民図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関です。

役職	委員名	初期任命日	任 期
委員長	堀 江 恵 子	H18. 11. 1	第14・15期 H28. 11. 1～H32. 10. 31※
副委員長	宗 像 美	H22. 11. 1	第14・15期 H28. 11. 1～H32. 10. 31※
委 員	田母野 公 彦	H14. 11. 1	第14期 H28. 11. 1～H30. 10. 31
委 員	小 山 保 子	H26. 11. 1	第14・15期 H28. 11. 1～H32. 10. 31※
委 員	宗 形 祐 司	H29. 4. 1	第14・15期 H28. 11. 1～H31. 3. 31
委 員	橋 本 清 二	H30. 11. 1	第15期 H30. 11. 1～H32. 10. 31※

※H32. 10. 31は、R2. 10. 31に読み替える。

会議等名	月/日	場所等	内 容
第1回 定例会	6/12 (火)	三春交流館 「楽屋A」	○平成29年度町民図書館事業報告について ○三春町民図書館要覧（平成30年度版）（案）について
第2回 定例会	11/7 (水)	三春交流館 「楽屋A」	○平成30年度前期町民図書館事業報告について ○2019年度三春町民図書館事業計画について

## (3) 図書館ボランティア

図書館ボランティア名簿登録者による図書館事業への活用を実施。

### 1) 図書館ボランティアの会議等

- ①「図書館ボランティアの会」読み聞かせ班打ち合わせ（毎月第3木曜日実施）
- ②福島市の図書館ボランティアとの交流会（平成30年9月7日実施）  
福島市のボランティアの会から三春町民図書館見学とボランティア会員との交流依頼を受けて実施。（双方合わせて35名参加）
- ③「図書館ボランティアの会」全体会（平成31年3月6日実施）

### 2) 「図書館ボランティアの会」の活動

- ①読み聞かせ班  
後記「読書推進事業」の「おはなし会」出演
- ②制作班：活動日 毎月第3金曜日  
平成30年度活動実績

実施数	活動者数	内 容
8回	29人	・ガーランド作り ・七夕飾りづくり ・パネルシアター「たぬきくんとおに」他 4点

### 3) 布絵本グループの活動

活動日：毎月第2、第4金曜日、図書館フェスティバルの布絵本講習会  
平成30年度活動実績

実施数	活動者数	内 容
17回	115人	・布おもちゃ「楽しいお弁当」制作 ・図書館フェスティバル講習会用品「ヨーヨーつり」作成準備

#### 4) 「生涯学習ボランティアの会」の活動

活動内容：書架整理

活動日：毎月第2、第4水曜日

平成30年度活動実績：24回・91人

#### 5) 個人活動

①板書：毎月、展示テーマに沿って職員が選んだ詩をボードに墨書。 10回

②生け花：随時、図書館入り口に季節の花を生けている。 72回

### 3 図書館事業

#### (1) 読書活動推進事業

##### 1) 館内おはなし会〔ミニおはなし会、絵本とわらべ唄〕

実施計画： ミニおはなし会 随時 職員のみ

絵本とわらべ唄 毎月第4水曜日10:30 職員のみ

※今年度から日曜おはなし会はボランティア主催としたが、企画なし。

名称	計画数	実施数	来場数(人)	備考
ミニおはなし会		5回	133人	中郷幼、岩江小、中郷小、中妻小、三春小
絵本とわらべ唄	12回	10回	60人	

##### 2) 特別おはなし会

ボランティア協力あり

名称	実施日	場所	来場数(人)	内容
ぬいぐるみのとしよかんおとまり会	5/26 (土)～ 27(日)	図書館 おはなし室	22	お子さんのぬいぐるみを預かって、おはなし会などを実施
夜の図書館探検ツアー &ちよっとこわ〜いおはなし会	8/3(金) 18:00	図書館 カウンター前	43	親子で参加
おはなし&かるた大会	1/19(土) 10:30	図書館 カウンター前	21	田村高JRC部員が出演し、おはなし会実施。その後かるた大会。

##### 3) 出前おはなし会

ボランティア協力あり

各種団体からの依頼を受け、職員とボランティアが各施設に出向いて実施。

保育所、幼稚園、子育て支援センター、小学校等

依頼者	回数	参加数(人)
①保育所、幼稚園、子育て支援センター等	33	1,176
内訳 ・町立保育所、幼稚園	19	1,069
・子育て支援センター、ママカフェ等	9	77
・町立以外の保育所、幼稚園等	5	30
②児童生活センターほか	17	410
内訳 ・児童生活センターわんぱくクラブ	9	252
・御木沢、岩江児童クラブ	3	96
・私立施設(ひかり三春教室)	5	62
③小学校(中妻、中郷、御木沢、沢石)	19	420
計	69	2,006

#### 4) 図書館フェスティバル事業

秋の読書週間及び三春町文化祭に合わせ、町民の読書意欲と図書館への関心を刺激することを目的に実施しました。

事業名	実施日・場所	内容等	参加数等
古本リユース市	H30.10.23(火) ～ 10.28(日) 三春町民図書館	・持寄り提供数：13件、333冊 ・図書館への年間寄贈分から 620冊	提供冊数 953冊
秋のとしよかん福袋	H30.10.23(火) ～ 10.28(日) 三春町民図書館	・テーマ毎に選んだおすすめの本を2～3冊を1パックにして貸し出す。 ・12パック準備	利用 6件
布絵本講習会	H30.10.26(金) 三春交流館 和室	講師：布絵本グループ 「やわらか・布のヨーヨー釣り」作成 ・参加料：500円	参加数 24人
特別おはなし会	H30.10.27(土) 三春町民図書館カウンター前	演者：ボランティア1名、職員2名 館内おはなし会の拡大版	参加数 7人

#### 5) ブックスタート事業

乳幼児と保護者を対象に「ブックスタートパック」（図書館利用案内等資料、絵本1冊、トートバッグ）を配布しています。

##### ・配布方法、実績

司書が毎月、3・4か月児健診時に保健センターへ出向き、保護者へブックスタート事業の内容を説明したり、読み聞かせの実演をしながら配布。

【実績】12回 93セット

#### 6) 朗読講習会

今年度初企画。生涯学習ボランティアの会との共催で、声に出して読むことの楽しさなどを学習する会。

##### ○開催回数、登録者

- ・開催時期と回数 6月から9月 5回
- ・登録者数 44人

#### 7) その他の読書推進活動

##### ① 例月展示テーマ(下記)を設定し、館内におすすめ資料を展示(70～90冊)

月	テーマ	月	テーマ
4月	桜	10月	ミステリー記念日
5月	新緑(初夏)	11月	明治150年
6月	時の記念日	12月	いのちの日(心の健康)
7月	月(皆既月食)	1月	囲碁の日(室内ゲーム)
8月	夏祭り	2月	猫の日
9月	敬老の日	3月	数学の日

##### ② ミニ展示テーマ設定(随時)(20～30冊)

【コーナー配置場所：雑誌コーナーの隣、ロッカーの上】 18回

「愛姫」、「田部井淳子さん」、「こどもの読書週間」など、主に大人向け

【コーナー配置場所：児童書コーナー内】 11回

「みんな、ともだち」、「おもちゃであそぼう」など、子供向け

##### ③ 各種リストなど資料PR物作成

館内、各地区館図書室に配置し、図書館ホームページに掲載。

- ・新着本/展示資料リスト：毎月発行、一般書と児童書に区分
- ・おすすめリスト：田部井淳子さん、こどもの読書週間、縄文時代、戊辰戦争、ミステリー本、猫関連
- ・調べ物ガイド：愛姫、自由研究、夏祭り、発達障がい



- ④ 出張展示（随時）  
 歴史民俗資料館、交流館まほらでの開催行事に参加。
- ・ 4月7日（土）～5月13日（土） 歴民春季特別展、田部井淳子関連展示
  - ・ 6月16日（土）、3月23日（土） 三春おやこ劇場
  - ・ 6月27日（水） マネジメント研修（役場主催）
  - ・ 7月7日（土）～8月26日（日） 歴民夏季企画展「縄文の美」
  - ・ 10月20日（土）～12月2日（日） 歴民秋季企画展「戊辰・明治150年」
- ⑤ 季節飾り（読書の滝桜：4/5-5/2、七夕：7/4-31、クリスマス：12/6-12/28）

## （2）関係機関とのネットワーク事業

### 1）他図書館等との相互協力

- ・ 国立国会図書館、全国公共図書館、福島県立図書館、福島県内公共図書館との相互貸借や情報共有、研修会参加など

### 2）三春町内関係機関との連携事業

#### ①各地区館図書室の資料管理

毎月、職員が巡回し、本館の情報提供や図書室の資料整備を実施。

#### ②各教育機関への巡回文庫貸出

小学校、幼稚園及び児童関連施設への読書活動援助のため、各施設を巡回し、配本・回収を行った。

- ・巡回先：町立小学校6箇所、町立幼・保5箇所、三春幼保園、児童クラブ2箇所、子育て支援センター
- ・配本数：小学校 220冊、幼稚園・保育所 120冊、児童クラブ 100冊、子育て支援センター 50冊

・巡回日 1回目：6/26-29 2回目：10/23-25 3回目：2/19-22

#### ③職場体験実習、ボランティア受入れ

実習内容：カウンター業務、書架整理、おはなし会補助など

- ・職場体験者 三春中2年3名、岩江中2年2名、安積高御館校2年2名、田村高校2年2名
- ・ボランティア 岩江中3名

#### ④ 図書館見学受入

- ・町内小学校児童（主に2年生） 御木沢小15名、沢石小6名、岩江小37名、中郷小12名、中妻小15名、三春小46名
- ・中郷幼稚園児（3～5歳）12名

## （3）図書館管理、運営

### 1）施設管理

随時、関係機関と調整し、実施した。（特記事項を下記に掲載）

月日	内容等
6/6、10/16、2/14、3/13	電気施設点検（NTT管理）
6/14、12/7	防災設備点検（NTT管理）
7/25	雑誌架のブラインド1台交換
8/5、3/17	害虫防除作業（NTT管理）
9/8、3/8	照明点検（NTT管理）
10/18、12/11	掃除機修理あり
1/30	風除室等の電気タイマー交換（NTT管理）
3/13	図書館事務室内電灯修繕（NTT管理）

## 2) 図書館運営

運営に関する新規事項は下記のとおり。

内 容 等	
4月	購読新聞1紙追加 (産経新聞)
5月	インターネット予約サービス開始
10月	読書通帳配布開始 (町民図書館作成)

## 3) 資料整備

収集基準や廃棄基準等に沿って資料の収集、整備等に努めた。

資料収集、廃棄にかかる特記事項を下記に掲載。

- ・ 三春町に関する新聞記事の収集・整理

「平成29年分からの三春町民図書館新聞クリッピング事務要項」に沿って事務を実施。  
職員への情報提供も行った。

収集対象：三春町関連記事

製本方法：日付順 (参考 製本冊数 40冊)

- ・ 資料廃棄 除籍本配本 (4月・7月・9月・1月)、古雑誌配本 (6月)、古新聞配布 (1月)

## 4) 運営及び利用状況のまとめ

①開館日数 286日

②入館者数 30,920人

③個人貸出人数 10,271人

後述の「4 三春町民図書館統計、利用状況」に詳細を掲載。

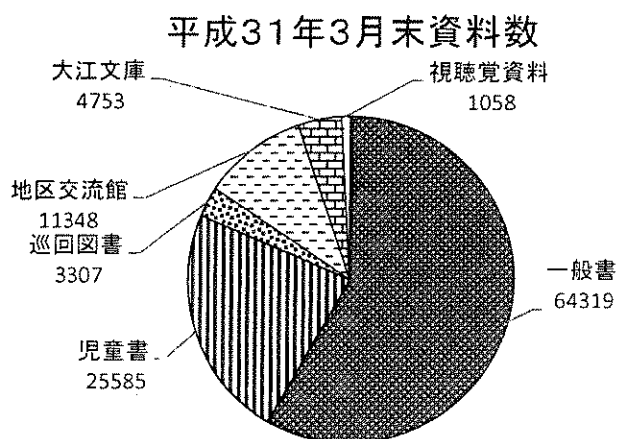
#### 4 三春町民図書館統計、利用状況

##### (1) 資料管理

【表1】平成31年3月末 図書館資料数 (単位：点)

分類	H30年 3月末	H31年3月まで		H31年3月末	
	資料数	増加数	減少数	資料数	比率
図書資料					
一般書	65,586	2,295	3,562	64,319	58.8%
児童書	25,624	719	758	25,585	23.4%
巡回図書	3,425	11	129	3,307	3.0%
地区交流館図書	11,303	402	357	11,348	10.4%
大江文庫	4,753	0	0	4,753	4.3%
小計	110,691	3,427	4,806	109,312	100.0%
視聴覚資料(点)	1,028	32	2	1,058	
総計	111,719	3,459	4,808	110,370	

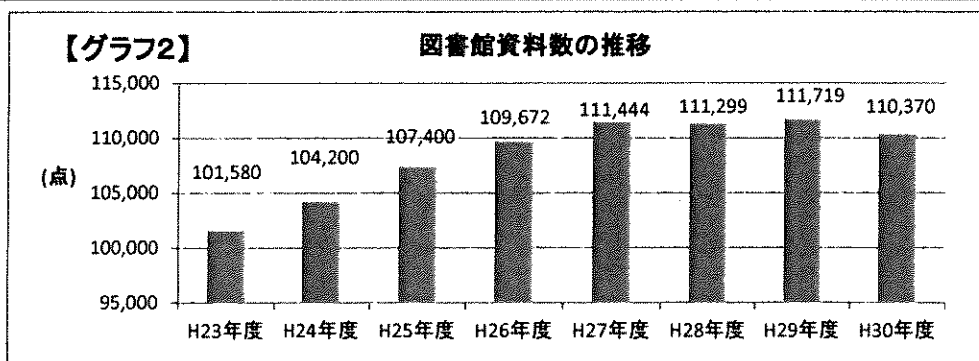
※「増加・減少数」欄は、購入や除籍のほかにも場所変更分を含んだ数値です。



【表2】図書館資料数(含視聴覚資料)の推移

蔵書数の増加を抑えるために、資料としての価値を見極めながら除籍を進めています。

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
年度末資料数	101,580	104,200	107,400	109,672	111,444	111,299	111,719	110,370
年度中増減数	7,224	2,620	3,200	2,272	1,772	-145	420	-1,349



(2) 利用状況

【表3】 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
開館日数(日)	23	24	25	25	25	24		
入館者数(人)	2,445	2,530	2,798	3,039	2,626	2,571		
貸出点数(点)	2,453	2,681	5,554	3,009	2,887	2,960		
内個人貸出	2,238	2,554	2,633	2,637	2,735	2,532		
貸出人数(人)	804	892	973	911	934	876		
内個人	782	865	906	871	905	831		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	個人貸出割合
開館日数(日)	24	23	22	23	23	25	286	
入館者数(人)	2,639	2,590	2,355	2,459	2,340	2,528	30,920	
貸出点数(点)	4,854	2,817	2,733	2,666	5,179	3,065	40,858	100.0%
内個人貸出	2,348	2,526	2,434	2,516	2,881	2,772	30,806	75.4%
貸出人数(人)	862	883	805	865	960	952	10,717	100.0%
内個人	812	843	787	834	915	920	10,271	95.8%

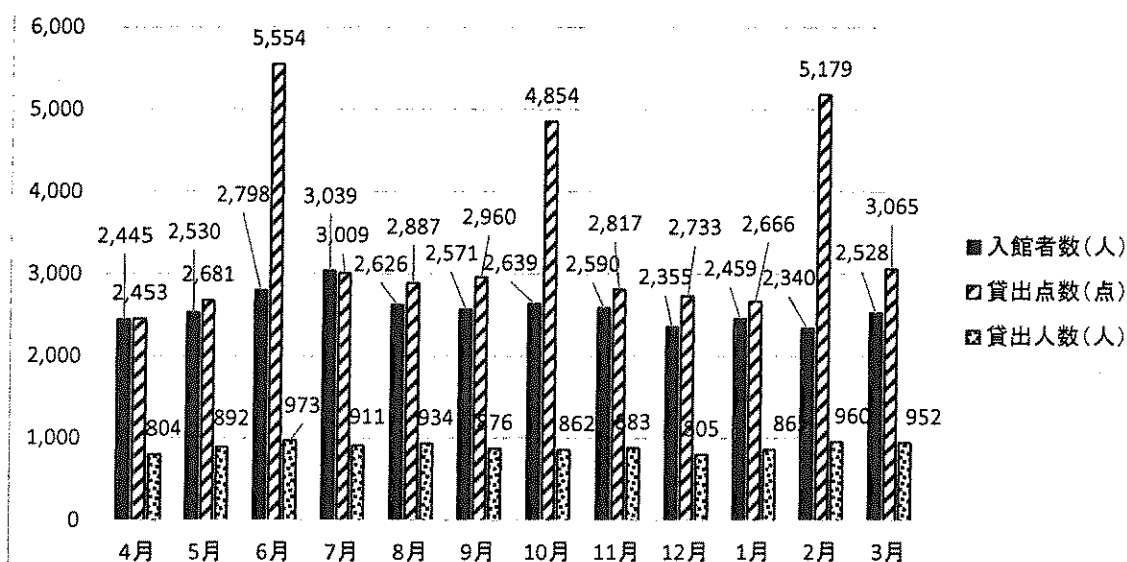
※貸出の資料区分の内訳比率: 図書 92.2%、雑誌 6.8%、視聴覚 0.8%

※入館者に対する個人貸出者の割合: 33.2%

※6・10・2月の貸出点数が多いのは、「巡回文庫」で貸出したためです。

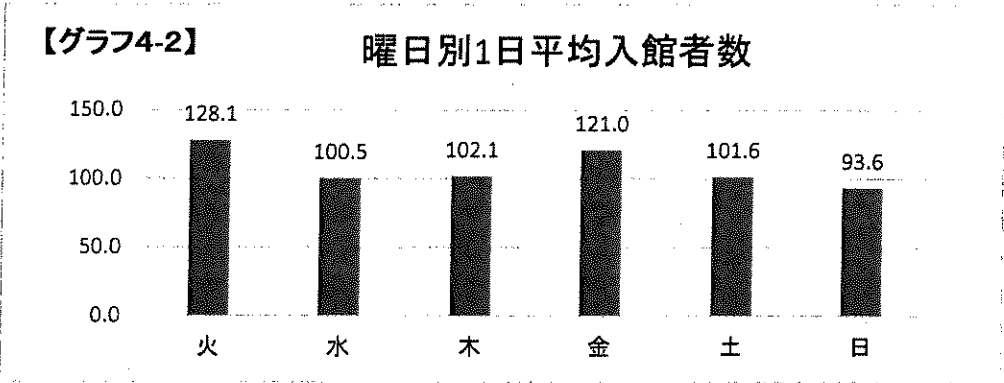
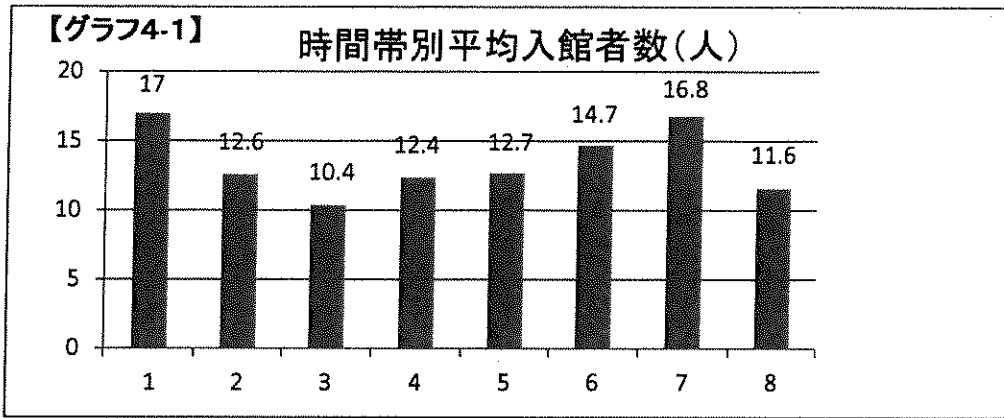
【グラフ3】

平成30年度 月別利用状況



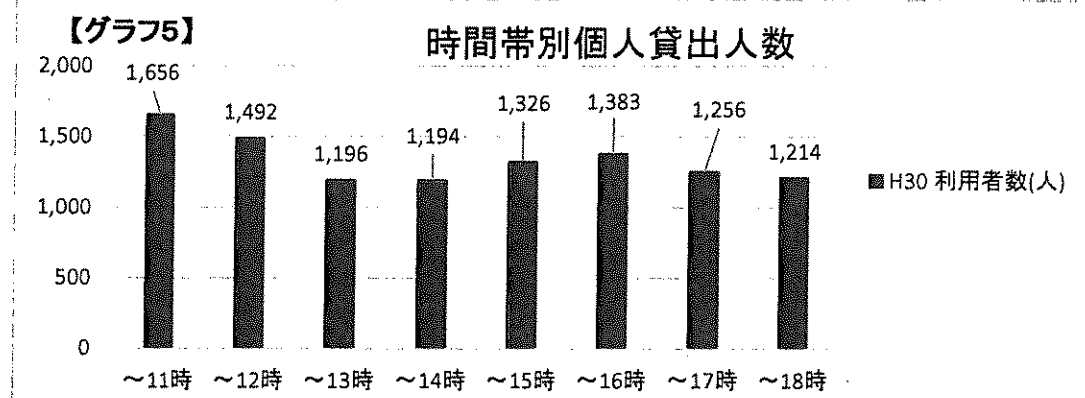
【表4】 時間帯別・曜日別入館者数の状況

曜日	集計 日数	～ 11時	～ 12時	～ 13時	～ 14時	～ 15時	～ 16時	～ 17時	～ 18時	計	1日平均 入館者数 <sup>a</sup>
火	50	1,119	721	566	611	674	1,003	1,134	579	6,407	128.1
水	41	749	439	337	490	478	554	517	555	4,119	100.5
木	49	774	534	459	601	547	670	759	657	5,001	102.1
金	49	707	572	536	600	675	839	1,381	620	5,930	121.0
土	48	816	768	583	645	600	576	493	397	4,878	101.6
日	49	685	564	490	611	645	557	526	507	4,585	93.6
合計	286	4,850	3,598	2,971	3,558	3,619	4,199	4,810	3,315	30,920	108.1
1日平均入館者数 <sup>a</sup>		17.0	12.6	10.4	12.4	12.7	14.7	16.8	11.6	108.1	



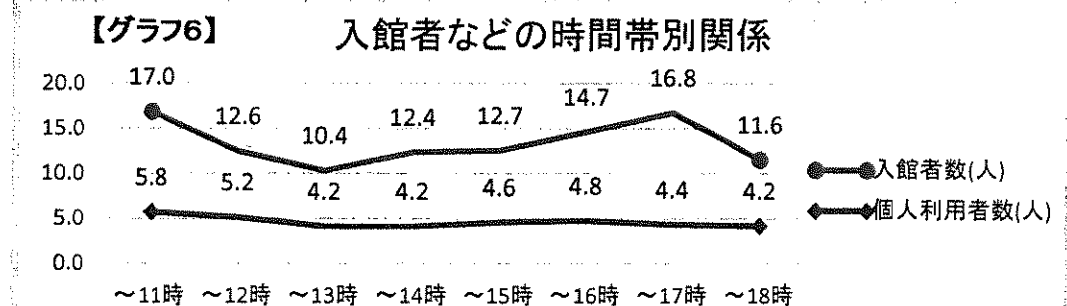
**【表5】 時間帯別個人貸出人数**

時間	～11時	～12時	～13時	～14時	～15時	～16時	～17時	～18時	計	備考
利用者数(人)	1,656	1,492	1,196	1,194	1,326	1,383	1,256	1,214	10,717	開館日数286日
平均(人)	5.8	5.2	4.2	4.2	4.6	4.8	4.4	4.2	37.5	
割合	15.5%	13.9%	11.2%	11.1%	12.4%	12.9%	11.7%	11.3%	100.0%	



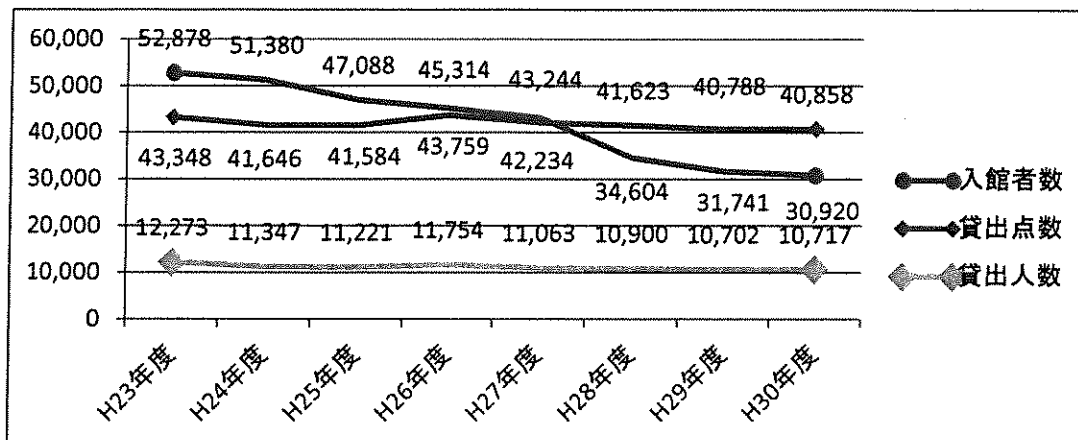
**【表6】 入館者数、個人利用者数の時間帯別関係**

項目	～11時	～12時	～13時	～14時	～15時	～16時	～17時	～18時	計	備考
入館者数(人)	17.0	12.6	10.4	12.4	12.7	14.7	16.8	11.6	108.1	H30年度の1日の 平均値です。
個人利用者数(人)	5.8	5.2	4.2	4.2	4.6	4.8	4.4	4.2	37.5	



【表7】年度別利用状況の推移

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
入館者数	52,878	51,380	47,088	45,314	43,244	34,604	31,741	30,920
貸出点数	43,348	41,646	41,584	43,759	42,234	41,623	40,788	40,858
個人		31,092	31,093	32,988	31,431	30,876	30,669	30,806
貸出人数	12,273	11,347	11,221	11,754	11,063	10,900	10,702	10,717
個人		10,757	10,844	11,246	10,631	10,479	10,250	10,271
開館日数	287	287	288	288	287	286	281	286



(3) 図書館運営状況

【表8】利用者状況（1年以内に利用した人数）

年齢別

(単位：人)

性別	年齢（歳）												合計
	～6	7～9	10～12	13～15	16～18	19～22	23～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	
男	28	41	39	14	8	9	12	25	29	36	73	86	400
女	14	44	46	22	24	23	38	122	111	95	152	99	790
計	42	85	85	36	32	32	50	147	140	131	225	185	1,190

地区別

(単位：人)

地区名	旧町							沢石	要田	御木沢	岩江	中妻	中郷	合計
	大町	中町	八幡町	荒町	北町	新町	八島台							
個人	44	36	95	95	45	133	172	29	54	125	143	50	140	1,161
団体	12	0	0	7	0	1	4	2	1	1	0	7	12	47

【表9】予約件数推移

(単位：点)

年度	一般書	児童書	雑誌	視聴覚	合計	対前年度比
H28年度	265	34	19	0	318	127.7%
H29年度	234	38	21	0	293	92.1%
H30年度	233	25	34	0	292	99.7%

【表10】リクエスト対応件数推移

(単位：冊)

年度	購入	相互借受	合計	対前年度比	相互貸出
H28年度	185	81	266	74.5%	37
H29年度	235	176	411	154.5%	23
H30年度	260	69	329	80.0%	40

【表11】相互貸借の推移

年度	貸 出									
	県内		県外				その他		計	
	件数	冊数	(北日本)		(左以外)		件数	冊数	件数	冊数
H28年度	20	33	3	3	1	1	0	0	24	37
H29年度	16	19	4	4	0	0	0	0	20	23
H30年度	28	34	3	3	1	3	0	0	32	40

年度	借 受											
	県内		県立図書館		県外				その他		計	
	件数	冊数	件数	冊数	(北日本)		(左以外)		件数	冊数	件数	冊数
H28年度	12	14	31	56	9	10	1	1	0	0	53	81
H29年度	16	19	38	143	10	10	4	4	0	0	68	176
H30年度	20	26	31	38	5	5	0	0	0	0	56	69

【表12】レファレンス受付件数 (単位：件)

年度	所蔵案内	対前年度比	調査相談	対前年度比	合計	対前年度比
H28年度	1,050	115.1%	47	92.2%	1,097	113.8%
H29年度	1,067	101.6%	56	119.1%	1,123	102.4%
H30年度	875	82.0%	55	98.2%	930	82.8%

※用語説明

レファレンス(reference service)：図書館利用者が、学習・研究・調査を目的として必要な情報・資料などを求めた際に、図書館職員が情報そのものあるいはそのために必要とされる資料を検索・提供・回答することによってこれを助ける業務

【表13】インターネット用PC利用申込数 (単位：件)

年度	小中高生	一般	合計	対前年度比	備 考
H28年度	22	106	128	102.4%	H29年3月から8月までネット利用不可のため、減少。
H29年度	6	59	65	50.8%	
H30年度	6	52	58	89.2%	

(4) 地区交流館図書室の図書貸出状況

年度	地区交流館名 利用階層	沢石会館		御木沢地区公民館		岩江センター		中妻地区公民館		中郷地区交流館		合計	
		中学生まで	大人	中学生まで	大人	中学生まで	大人	中学生まで	大人	中学生まで	大人	中学生まで	大人
H25年度	利用者(人)	43	2	0	0	140	82	14	0	52	1	249	85
	貸出数(冊)	80	4	0	0	365	147	17	0	111	2	573	153
H26年度	利用者(人)	4	12	0	0	146	73	12	4	29	6	191	95
	貸出数(冊)	6	21	0	0	780	274	19	5	79	24	884	324
H27年度	利用者(人)	4	0	0	0	175	54	5	16	31	4	215	74
	貸出数(冊)	4	0	0	0	429	101	7	38	107	16	547	155
H28年度	利用者(人)	0	3	85	71	134	50	14	5	44	7	277	136
	貸出数(冊)	0	5	0	0	134	52	43	9	132	28	309	94
H29年度	利用者(人)	0	5	26	6	285	43	27	7	33	2	371	63
	貸出数(冊)	0	10	4	0	810	80	71	17	64	3	949	110
H30年度	利用者(人)	0	0	0	0	259	62	0	0	21	1	280	63
	貸出数(冊)	0	0	0	0	785	117	0	0	67	2	852	119

※御木沢地区は平成28年度から閲覧利用者数も計上。

その他の地区は貸出者数・冊数を計上。

## 児童生活センター

### 平成30年度重点施策の進捗状況

#### 1 放課後子ども総合プラン推進事業に関する取り組み

##### (1) 児童クラブ運営事業

放課後留守家庭となる児童が過ごす居場所として、三春小学校区（わんぱくクラブ）・岩江小学校区（岩江児童クラブ）・御木沢小学校区（御木沢児童クラブ）で放課後児童クラブを開設した。

岩江児童クラブでは、平成30年度より利用時間を拡大して実施した。

各クラブとも保護者会を中心に親子行事を実施したり、季節の行事で異学年の交流や地域の方々との交流事業などを実施した。

##### (2) まほらっこ教室運営事業

放課後の児童の安心・安全な居場所として小学校の空き教室や体育館又は地区の公民館を利用して地域のボランティアの方々の協力をいただき、全小学校区でまほらっこ教室を開設した。

また、児童クラブのない地域では、延長・長期休業中教室を実施し、夏休み教室を開催し、異学年交流や地域間交流を行った。

#### 1 運営方針

- (1) 異年齢集団など、仲間との人間関係を広げる。
- (2) 子どもの自主的・自治的活動体験を豊かにする。
- (3) 地域の関係団体や地域住民との交流を図る。

#### 2 職員

所長1人、主任主査1人、主査1人、技師1人、臨時職員23人

#### 3 平成30年度事業

##### (1) 放課後児童健全育成事業（児童クラブ）

###### ①実施状況

（平成31年3月末現在）

クラブ名	小学校区	定員	児童数	職員数	開設日	開設日数
わんぱくクラブ	三春小学校	70名	58名	8名	月曜～金曜 第3・4・5土曜日	270日
岩江児童クラブ	岩江小学校	60名	65名	8名	月曜～金曜 第2土曜日	253日
御木沢児童クラブ	御木沢小学校	30名	19名	3名	月曜～金曜 第1土曜日	252日
計		160名	142名	19名		平均 258日

御木沢児童クラブでは、長期休業期間中の朝の児童受け入れのために、別に臨時職員を確保し対応している。



②平成30年度岩江児童クラブの長期・延長利用状況

今年度より、岩江児童クラブにおいて希望する者について長期・延長利用を実施した。

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通常利用 (8:30~18:00)	65	64	63	63	63	63	63	63	63	63	62	62	757
長期利用 (7:30~18:30)	29			34	38				24	9		24	158
長期のみ利用 ※(夏・冬・春休み)	3			(3)	(3)				(3)	(3)		(3)	3
延長利用 (18:30まで)	12	8	16	11		13	11	12	12	13	12	12	132
利用合計(のべ)	109	72	79	108	101	76	74	75	99	85	74	98	1,050

※「長期のみ利用」については、年間を通しての利用者、「長期利用」「延長利用」については、「通常利用」の内数

③安全対策(避難訓練)

クラブ名	月日	想定	内容
わんぱくクラブ	6月20日	地震	避難時の注意事項説明、三春小校庭へ避難、まほらっこ教室との合同訓練
岩江児童クラブ	6月22日	火災	避難時の注意事項説明、岩江小校庭へ避難
	8月8日 9日	交通安全	バスの乗降の仕方や車内マナーや集団で歩く際の諸注意についての事前指導及び実施指導
	9月19日	地震 火災	避難時の注意事項説明、ゲートボール場駐車場へ避難
	10月12日	ミサイル発射	Jアラート発令、頭を守る姿勢をとり避難の仕方の訓練
	11月21日	防犯	不審者が侵入時の移動訓練
御木沢児童クラブ	4月11日	危険場所	敷地内区間場所の確認とルールの徹底
	5月21日	地震	避難時の注意事項説明、御木沢小体育館から駐車場へ避難
	10月22日	火災	

④今年度の主な実施事業

ア 各クラブ年間季節行事

◎すべての児童クラブにおいて毎月けん玉検定を実施

月	わんぱくクラブ	岩江児童クラブ	御木沢児童クラブ
4月	入所式(7日) 母の日プレゼント制作(似顔絵・マグネット・メッセージカード)	入所式(7日) 母の日プレゼント制作(バック・似顔絵・メッセージカード)	入所式(7日) 危険場所確認(11日) お花見(13日:20名) 母の日プレゼント制作(ハーバリウム・メッセージカード)

月	わんぱくクラブ	岩江児童クラブ	御木沢児童クラブ
5月	手作りランチ (おにぎり) & 体育館で遊ぼう (14日:45名)	手作りランチ (カレー・野菜サラダ・デザート) (14日:58名)	手作りランチ (豚丼・わかめスープ・サラダ) (14日:21名) 避難訓練 (21日)  父の日プレゼント制作 (キーホルダースタンド・メッセージカード)
6月	避難訓練 (20日:62名) 父の日プレゼント制作 (コースター・メッセージカード) 七夕飾り制作・飾り付け	避難訓練 (22日:50名) 父の日プレゼント制作 (折り紙 Yシャツ・メッセージカード) 七夕飾り制作・飾り付け	七夕飾り制作・飾り付け
7月	七夕集会 (3日:46名) 子ども夏まつり (28日:332名)	七夕集会 流しそうめん (27日:58名)	七夕集会 (3日:22名) 親子夏まつり (29日:71名)
8月	夏の遠足 (環境創造センター・三春の里・三春ダム) (7日:43名) 太巻き寿司ランチ (21日:49名) 寛平ちゃん応援 (みちのくマラソン応援) (21日:49名) おやつを買いに行こう (北町蔵) (23日:42名) 敬老の日プレゼント制作 (メッセージボード)	縁日 (3日:62名) カレー昼食会 (三春の里) (9日:57名) 交通安全指導 (9日:57名) スイカ割り (22日:51名)	夏の遠足 (2日:19名) (町営プール・三春ダム・三春の里) 読み聞かせ集会 (7日:16名) すいか割り・種飛ばし大会 (9日:18名) 流しそうめん (21日:22名)
9月		岩江地区敬老会参加 (けん玉発表) (16日:30名) 避難訓練 (19日:54名) 敬老の日プレゼント制作 (メッセージ付き写真立て)	元気モリモリオやつ (10日:23名) 御木沢地区敬老会参加 (けん玉、ダンス発表) (15日:15名) 敬老の日プレゼント制作 (プラバンストラップ・メッセージカード)
10月	体育館で体を動かそう (1日:36名) 手づくりおやつ (メンチカツドック) (23日:46名) プラバンを作ろう & 昔遊び体験 (29日:41名) ハロウィン制作	避難訓練 (12日:53名) 親子行事 (東北サファリパーク) (20日:参加者72名) ボウリング大会 (29日:54名)	手づくりおやつ (フルーツパフェ) (23日:22名) 避難訓練 (22日:22名) チューリップの球根植え ハロウィン制作
11月	もちつき交流会 (17日:51名) 干支張子の絵付け クリスマス制作	もちつき交流会 (10日:参加者60名) 避難訓練 (21日:59名) 干支張子の絵付け	干支張子の絵付け
12月	ボウリング大会 (3日:44名) クリスマスお楽しみ会 (14日:56名)	クリスマスお楽しみ会 (25日:56名)	クリスマスお楽しみ会 (21日:19名)

月	わんぱくクラブ	岩江児童クラブ	御木沢児童クラブ
1月	初詣（三春大神宮）（7日：39名） ベーゴマ教室（15日：58名） 節分制作	初詣（直毘神社）（7日：34名）	初詣（八雲神社）（7日：14名） ボウリング大会（15日：15名） なわとび大会（21日：19名） ベーゴマ遊び
2月	節分（豆まき） ひなまつり制作	節分（豆まき）（1日：52名）	節分（豆まき）（1日） ひなまつり制作
3月	手づくりおやつ（パフェ）（5日：48名） 終了制作（アイロンビーズでキーホルダーを作ろう） 終了式（23日）	終了式（25日）	終了制作 終了式（22日）

#### イ 地域に拓く活動（土曜・長期休業など）

児童生活センター事業として地域に開放することを目的に、関係団体や地域住民との交流を図り、異年齢集団における仲間との人間的関わりを広げた。

今年度より、第1土曜日は御木沢児童クラブ、第2土曜日は岩江児童クラブ、第3～第5土曜日はわんぱくクラブを開所し、通常預かりや自由参加による下記事業を実施した。毎週いずれかのクラブを開所し、他地域の児童も受け入れることにより、クラブ員同士の交流や効率化が図られた。

（平成31年3月末現在）

事業名	実施日	実施内容	人数	
◎体育館で遊ぼう （御木沢児童クラブ） ※体育館で体を動かして遊ぶ。	第1土曜日 （自由参加）	7月7日	いろいろな鬼遊び	14名
		9月1日	フラッグフットボール	15名
		10月6日	フラッグフットボール	12名
◎料理教室 （岩江児童クラブ） ※作る過程、食べる楽しさ、食物の大切さを学ぶ。	第2土曜日 （自由参加）	6月9日	お好み焼き	11名
		9月8日	フルーツパフェ	11名
		12月8日	デコロール	11名
		2月9日	チョコマフィン	10名
◎ボランティア活動 （わんぱくクラブ） ※活動を通し奉仕の心を育てる。	第3土曜日 （自由参加）	6月16日	三春小周辺ゴミ拾い	6名
		9月15日	敬老園交流会	11名
		1月19日	エコキャップ運動	7名
◎ミニシアター （わんぱくクラブ） ※昔話などの読み聞かせや映画・ビデオ上映により豊かな心を育てる。	第3土曜日 （自由参加）	6月16日	絵本2・紙芝居1・DVD2	6名
		9月15日	絵本1・紙芝居2・DVD4	6名
		1月19日	絵本3・紙芝居1・DVD2	9名
◎おりがみ教室 （わんぱくクラブ） ※各種の折り紙に挑戦し、想像力を養う。	第3土曜日 第4土曜日 （自由参加）	5月19日	ウィングボード	7名
		6月23日	きらきら七夕飾り	9名
		11月24日	水の中の生き物	6名
		2月16日	ひなかざり	7名

事業名	実施日	実施内容	人数
◎理科クラブ (わんぱくクラブ)  ※自然観察ステーション事業へ参加し研究心を育む。	5月26日	カブトムシの幼虫採集	12名
	7月21日	草木染め	9名
	9月29日	陶芸教室	14名
	12月22日	キャンドルづくり	16名
	1月26日	木の実クラフトづくり	13名
	2月23日	野鳥観察	12名
その他、岩江探検・野菜の苗植え・団子さし・昔遊び体験(ベーゴマ)・はないちもんめなどを実施した。			

(2) 放課後子ども教室推進事業(放課後子ども教室)

まほらっこ教室を開設し、全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるように児童クラブのない地域では、延長教室・長期休業中教室を実施した。

① 実施状況

(平成31年3月末現在)

教室名	区分	小学校区	登録児童数	指導員等	開設日	開設日数
三春教室	通常	三春小学校西校舎1階	16名	7名	月曜～金曜	152日
岩江教室	通常	岩江小学校体育館	57名	8名	月曜～金曜	153日
御木沢教室	通常	御木沢小学校音楽室	17名	6名	月曜～木曜	117日
中妻教室	通常	中妻地区公民館	43名	9名	月曜～金曜	200日
	(延長)		28名			2名※2
	(長期)		26名	31日		
中郷教室	通常	中郷地区交流館	79名	9名	月曜～木曜	133日
	(延長)		46名	2名※2	月曜～金曜	199日
	(長期)		47名			31日
沢石教室	通常	沢石小学校体育館※1	44名	6名	火曜～木曜	109日
	(延長)		43名	3名※2	月曜～金曜	199日
	(長期)		43名			31日
小計	通常教室		256名	45名		平均144日
	(延長教室)		117名	7名※2		平均199日
	(長期教室)		116名			平均31日
合計			256名	52名		

※1 冬季期間中(12月から3月まで)は、沢石会館

※2 放課後児童支援員(臨時職員)

②まほらっこ教室活動事業

ア まほらっこ教室訪問

○英語教育助手の教室訪問

各まほらっこ教室へ英語教育助手が月1回から2回訪問し、ボール遊びやゲームをしたり異文化交流を行った。

○県中教育事務所による教室訪問

県の放課後支援事業の推進を図るため、まほらっこ教室の訪問が実施された。

教室名	時期	内容	参加者	場 所
まほらっこ御木沢教室	10月2日	・コーディネーター、 安全管理員、活動 指導員等との懇談 ・子ども教室参観	県中教育事務所社会教 育主事2名・コーディネ ーター2名・指導員6 名・所長・担当	御木沢小学校 音楽室

イ 夏休み教室

町内のまほらっこ教室登録児童を対象に、夏休み期間を利用して全教室対象に行った。

事業名	人数	実施日	内 容	場 所
中妻教室	まほらっこ児童 16名 コーディネーター 1名 指導員・支援員等 6名 講師 2名・所長	8月9日	①料理教室 (サラダ付きハンバーグ 定食) ②昼食交流会 ③食育の話	中妻地区公民館
中郷教室	まほらっこ児童 33名 コーディネーター 2名 指導員・支援員等 5名 講師 2名・所長	8月8日	①料理教室 (サラダ付きハンバーグ 夏野菜カレー) ②昼食交流会 ③食育の話	中郷地区交流館
沢石教室	まほらっこ児童 37名 コーディネーター 1名 指導員・支援員等 11名 所長	8月10日	①工作教室 (風鈴・小物入れ・牛乳パ ック箱・紙ひこうき)	沢石小体育館

ウ まほらっこ教室安全管理員・活動指導員・放課後児童支援員訓練・研修等

事業名	参加人数	実施日	内 容	場 所
安全管理員・活動指導員等合同打合せ	45名	4月3日	委嘱状交付 各教室事前打合せ	学習室CD
避難訓練 (地震想定)	148名	5月30日・ 6月11日 ～ 6月28日	① 施設内の身の安全の確保法講習 ② 避難訓練(児童も一緒に実施) ※三春教室は児童クラブと合同実施	各教室
指導員等研修会	32名	6月6日	「AED講習会」 講師 日本赤十字社福島県支部 赤十字救急法指導員 ボランティア 山上 照雄 氏 ※児童クラブ指導員合同受講	まほらホワイエ
放課後子ども教室 県中地区研修会	2名	8月23日	「子どもたちとのかかわり方を考える」 講師 福島県学校教育 相談員 山本 和宏 氏他	たまかわ文化体育館 (玉川村)

※コーディネーター・安全管理員・活動指導員・放課後児童指導員合同打合せを随時実施

③放課後子ども総合プラン推進事業運営委員会

事業名	人数	時 期	内 容	場 所
第1回委員会	12名	5月15日	委嘱状交付 平成30年度実施計画・体制	三春交流館「まほら」
第2回委員会		10月2日	事業中間報告 次年度の運営について	
第3回委員会		2月26日	平成30年度事業結果報告 平成31年度事業計画審議 意見交換	

④放課後子ども総合プラン推進事業運営委員会委員

(任期2年：平成29年4月1日～平成31年3月31日)

服部 昇	佐久間 政明	遠藤 勝美	小林 一子
橋本 さゆり	川音 栄子	箭内 良一	渡辺 央
長谷川 徳子	吉川 久三	横山 史子	宗像 幸子